

NixusCelio

コンテンツ作成マニュアル

NIXUS
passion for innovation

日興通信株式会社
3.0 版(2019/04)

目次

1. Nixuscelioとは.....	6
2. celio コンテンツ作成.....	7
3. ベースファイル.....	7
3.1. 環境設定シート.....	7
3.1.1. Online IP アドレス.....	7
3.1.2. Channel.....	8
3.1.3. DSO パス.....	8
3.1.4. PIC パス.....	8
3.1.5. Log パス.....	8
3.1.6. ログ保持日数.....	8
3.1.7. オープン時に自動で接続する.....	8
3.1.8. ボタンにフォーカスを残さない.....	8
3.2. DSO 一覧シート.....	9
3.2.1. No.....	9
3.2.2. 名称.....	9
3.2.3. 備考.....	9
3.2.4. 全面インエフェクト.....	9
3.2.5. 全面アウトエフェクト.....	15
3.2.6. タイマー.....	20
3.3. タイマー設定シート.....	21
3.3.1. タイマーNo.....	22
3.3.2. 名称.....	22
3.3.3. タイプ.....	22
3.3.4. タグ名.....	22
3.3.5. 0 表示.....	25
3.4. タグ設定シート.....	27
3.4.1. DSO・タグ名.....	27
3.4.2. 置換え文字列.....	27
3.4.3. 表示・非表示.....	30
3.4.4. リサイズ.....	32
3.4.5. 全体装飾.....	33
3.4.6. 文字列装飾.....	36
3.4.7. スライド.....	39
3.5. 装飾設定シート.....	41
3.5.1. 装飾 No.....	41
3.5.2. 名称.....	41
3.5.3. シート名.....	41
3.5.4. 装飾-エッジ.....	42
3.5.5. 装飾-シャドウ.....	43
3.5.6. 装飾-ボード.....	44
3.6. 表面色設定シート.....	46
3.6.1. 表面色 No.....	46
3.6.2. 名称.....	46
3.6.3. シート名.....	46
3.6.4. 表面色.....	47
3.6.5. グラデーション.....	47
3.6.6. テクスチャ.....	49
3.7. テンプレートシート(1 系統/2 系統).....	51

3.7.1. Channel 表示番号.....	51
3.7.2. PRG/PREV 切替ボタン.....	51
3.7.3. CLEAR ボタン.....	51
3.7.4. CHANGE ボタン.....	51
3.7.5. ALL CLEAR ボタン.....	52
3.7.6. Online 接続ボタン.....	52
4. チュートリアル-事前準備.....	53
4.1.1. ブックの保護を解除する.....	53
4.1.2. 開発タブを表示する.....	53
4.1.3. チュートリアルの完成ファイルについて.....	53
5. チュートリアル-基本.....	54
5.1. DSO ファイルを作成する.....	54
5.1.1. オブジェクトにタグ名を設定する.....	54
5.1.2. DSO ファイルを保存する.....	55
5.2. DSO ファイルを登録する.....	55
5.3. Online に接続する.....	55
5.3.1. 環境設定シートの設定項目を入力する.....	55
5.3.2. Online 接続ボタンをクリックする.....	56
5.4. DSO ファイルを送出する.....	56
5.4.1. コマンドボタンを配置する.....	56
5.4.2. コマンドボタンのクリックイベントを記述する.....	58
5.4.3. コマンドボタンをクリックして VBA を実行する.....	58
5.5. 文字列を置き換えて送出的.....	59
5.5.1. 文字列の入力エリアを作成する.....	59
5.5.2. タグ設定を登録する.....	59
5.5.3. 文字列を入力して送出的.....	59
5.6. 画像を置き換えて送出的.....	60
5.6.1. 画像ファイル名の入力エリアを作成する.....	60
5.6.2. タグ設定を登録する.....	60
5.6.3. 画像ファイル名を入力して送出的.....	61
5.7. オブジェクトを非表示にする.....	61
5.7.1. タグ設定を登録する.....	61
5.7.2. 置換え文字列を入力して送出的.....	62
5.8. オブジェクトのサイズを変更する.....	62
5.8.1. タグ設定を登録する.....	62
5.8.2. 画像ファイル名を入力して送出的.....	63
6. チュートリアル-装飾.....	64
6.1. 文字列の色を変更する(セルの文字色).....	64
6.1.1. タグ設定を変更する.....	64
6.1.2. 文字列の入力エリアの文字色を変更して送出的.....	64
6.2. 文字列の色を変更する(表面色設定).....	64
6.2.1. 表面色設定を登録する.....	65
6.2.2. タグ設定を変更して送出的.....	65
6.3. 文字列にグラデーション装飾を追加する.....	66
6.3.1. 表面色設定を登録する.....	66
6.3.2. 表面色を指定するための入力エリアを追加する.....	66
6.3.3. タグ設定を変更して送出的.....	67
6.4. 文字列にテキスト装飾を追加する.....	67
6.4.1. 表面色設定を登録する.....	67
6.4.2. 表面色 No を入力して送出的.....	68

6.5. 文字列にエッジ装飾を追加する.....	69
6.5.1. 装飾設定を登録する.....	69
6.5.2. 表面色設定を登録する.....	69
6.5.3. タグ設定を変更して送出する.....	70
6.6. 文字列にシャドウ装飾を追加する.....	70
6.6.1. 装飾設定を登録する.....	70
6.6.2. 表面色設定を登録する.....	71
6.6.3. タグ設定を変更して送出する.....	71
6.7. 文字列にボード装飾を追加する.....	72
6.7.1. 装飾設定を登録する.....	72
6.7.2. 表面色設定を登録する.....	73
6.7.3. タグ設定を変更して送出する.....	73
6.8. オブジェクトにエッジ装飾を追加する.....	74
6.8.1. 装飾設定を登録する.....	75
6.8.2. タグ設定を変更して送出する.....	75
6.9. オブジェクトにシャドウ装飾を追加する.....	76
6.9.1. 装飾設定を登録する.....	76
6.9.2. タグ設定を変更して送出する.....	77
6.10. オブジェクトにボード装飾を追加する.....	77
6.10.1. 装飾設定を登録する.....	77
6.10.2. タグ設定を変更して送出する.....	78
6.11. 文字列に複数の装飾を追加する.....	78
6.11.1. タグ設定を変更して送出する.....	79
7. チュートリアル-スライド.....	80
7.1. スライドを使用する.....	80
7.1.1. DSO ファイルに IN スライドオブジェクトを追加する.....	80
7.1.2. スライド設定を登録して送出する.....	81
7.2. スライドを無効にする.....	81
7.2.1. タグ設定でスライドを非表示にして送出する.....	81
8. チュートリアル-グラフ送出.....	83
8.1. グラフを表示する-画像置き換えを使用.....	83
8.1.1. DSO ファイルを作成する.....	83
8.1.2. DSO 一覧シートに登録する.....	83
8.1.3. シートにグラフを作成する.....	84
8.1.4. グラフを画像出力するコマンドボタンを追加する.....	84
8.1.5. タグ設定を登録する.....	85
8.1.6. 送出するコマンドボタンを追加する.....	85
8.1.7. グラフを出力して送出する.....	86
8.2. グラフを表示する-オブジェクトのリサイズを使用.....	87
8.2.1. DSO ファイルを作成する.....	87
8.2.2. DSO 一覧シートに登録する.....	88
8.2.3. シートに入力項目を作成する.....	88
8.2.4. タグ設定を登録する.....	88
8.2.5. シートの入力項目に計算式を追加する.....	89
8.2.6. 送出するコマンドボタンを追加する.....	89
8.2.7. データを入力して送出する.....	90
9. チュートリアル-2Channel 送出.....	91
9.1.1. DSO ファイルを作成する.....	91
9.1.2. DSO 一覧シートに登録する.....	91
9.1.3. モジュールの設定を変更する.....	92

9.1.4. シートに入力エリアと送出用のコマンドボタンを追加する	92
9.1.5. DSO 番号を入力して Channel1/Channel2 に送出する	93
10. チュートリアル-全面エフェクト	95
10.1. DSO ファイルを作成する.....	95
10.2. DSO 一覧シートに登録する	95
10.3. 送出するコマンドボタンを追加する.....	96
10.4. 全面エフェクト設定を登録して送出する	96
10.5. 全面エフェクト設定の入力エリアを作成して送出する	97
11. チュートリアル-タイマー機能	99
11.1. カウントアップ/カウントダウンを送出する	99
11.1.1. DSO ファイルを作成する	99
11.1.2. DSO ファイルに登録する	100
11.1.3. タイマー設定に登録する	101
11.1.4. 入力エリアを作成する	101
11.1.5. DSO 一覧シートに登録する	102
11.1.6. 送出するコマンドボタンを追加する.....	102
11.1.7. タイマーのカウントを開始するコマンドボタンを追加する	103
11.1.8. タイマーのカウントを停止するコマンドボタンを追加する	103
11.1.9. タイマーを送出する.....	104
11.2. 時計を送出する	105
11.2.1. DSO ファイルを作成する	105
11.2.2. DSO ファイルに登録する	107
11.2.3. タイマー設定に登録する	107
11.2.4. DSO 一覧シートに登録する	108
11.2.5. 送出するコマンドボタンを追加する.....	108
11.2.6. 時計 OUT スライドのコマンドボタンを追加する.....	109
11.2.7. 時計を送出する	110
12. 改訂履歴	111

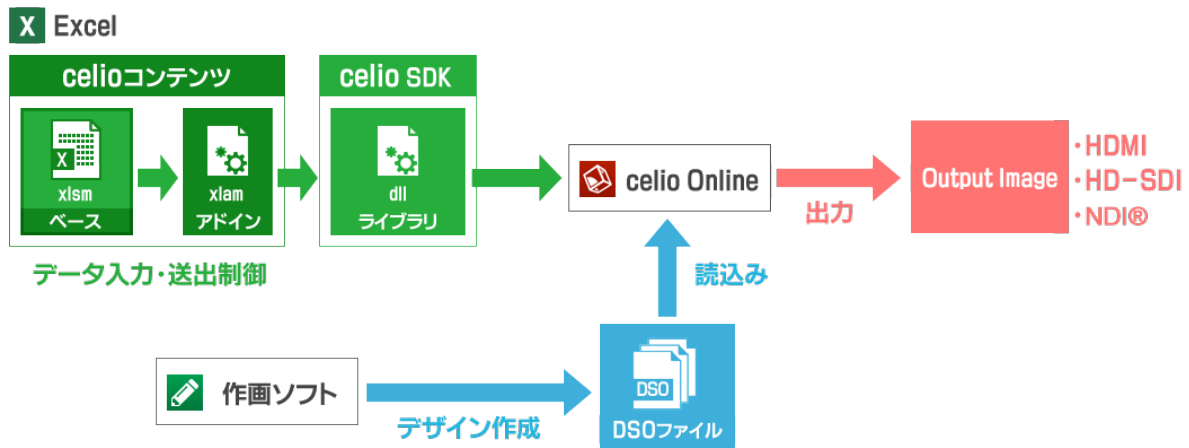
1. Nixuscelio とは

Nixuscelio(以下 celio)とは、Microsoft Excel の VBA 等を利用したリアルタイムオンエア CG システムです。

celio は「celio SDK」と、celio SDK を使って作成された「celio コンテンツ」からできています。

本マニュアルは celio コンテンツを作成する方のための、コンテンツ作成マニュアルです。celio コンテンツは、あらかじめ用意された Excel のベースファイルを使用することで、プログラムができない方でも簡単に作成することができます。

celio でオンエアする為に必要なアウトプットイメージのデザイン「DSO」は NIXUS の専用作画ソフトで作成します。また、オンエアするアウトプットイメージは、NIXUS のレンダリング出力ソフト【celio Online】を利用して出力します。



■celio コンテンツ

celio SDK を使用して作成したコンテンツです。CG の送出制御を行います。

celio コンテンツを簡単に作成するために、以下 2 つのファイルがあらかじめ用意されています。

- アドインファイル(NixusCelioCore.xlam)
celio SDK を使用する主な処理をまとめたアドイン形式の Excel ファイルです。celio SDK の制御を使いやすくまとめたものです。
※お客様がアドインファイルを改変して使用された場合、動作の保証ができません。改変して使用された時に生じるいかなる損害に対しても、弊社は一切その責任を負わないものとします。
- ベースファイル(celio ベース.xlsm)
作成するコンテンツの元となる Excel ファイルです。アドインファイルとの基本的なやりとりが記述されており、このファイルを使用してコンテンツを作成することで、アドインファイル、celio SDK が簡単に使用できます。

■celio SDK(NixusCelio.dll)

レンダリング出力ソフト【celio Online】と直接やりとりをするライブラリです。このライブラリだけでもオンエア CG システムを作成することは可能です。

■作画ソフト「Telop Canvas 4/Telop Draw」

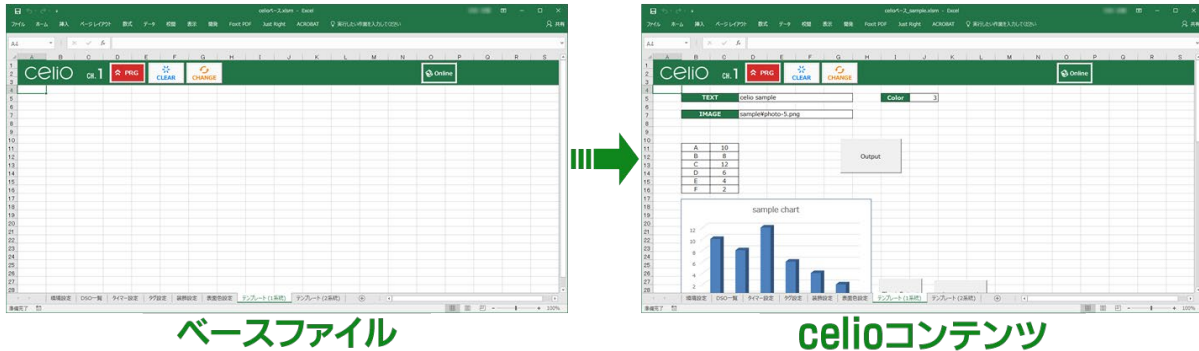
アウトプットイメージのデザインレイアウトを作成するソフトウェアです。DSO というファイル形式で作成します。また、各オブジェクトを制御するために必要な「タグ付け」の作業も作画ソフトで行います。

■レンダリング出力ソフト「celio Online」

画面を生成し、出力するソフトウェアです。celio からの入力情報や制御命令を受けて、DSO ファイル読み込み・画面生成を行い、各デバイスへ出力します。以降は【Online】と記載します。

2. celio コンテンツ作成

celio には、コンテンツを作成するためのベースとしてお使いいただける「ベースファイル」があらかじめ用意されています。ベースファイルを使用することで簡単に celio コンテンツを作成することができます。本マニュアルでは、ベースファイルを使って celio コンテンツを作成するための解説を行います。



3. ベースファイル

ベースファイルは、作成するコンテンツの元となる Excel ファイルです。環境設定、タグ設定、装飾設定など、設定項目ごとにシートが分かれており、それぞれの設定シートに必要な設定値を入力するだけでコンテンツを作成できるようになっています。

ここでは、ベースファイルの設定シートをそれぞれ解説します。

3.1. 環境設定シート

主にレンダリング出力ソフト【Online】への接続設定など、基本的な設定を行うシートです。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S
1																			
2																			
3			Online IPアドレス			127.0.0.1													
4			Channel			1													
5																			
6																			
7			DSOパス			C:\NIXUS\celio\DSO*													
8			PICパス			C:\NIXUS\celio\PIC*													
9																			
10																			
11			Logパス																
12			ログ保持日数			日													
13																			
14																			
15			オープン時に自動で接続する																
16			ボタンにフォーカスを残さない																
17																			
18																			

3.1.1. Online IP アドレス

【Online】を起動する端末の IP アドレスを入力します。初期値は、「127.0.0.1」(自端末)に設定されています。【Online】を別端末で使用する場合は、設定を変更してください。

3.1.2. Channel

【Online】で使用する Channel を【1:Channel1/2:Channel2/3: Channel1&2】から選択します。ドロップダウンリストから選択するか、1~3 の数字で入力してください。

celio では、最大 2 つの Channel を使って CG を送出することができます。Channel1 と Channel2 を両方を使用する場合は、それぞれの Channel に送出した CG を合成して出力します。

3.1.3. DSO パス

DSO ファイルを保存しているフォルダのパスを入力します。初期値は「C:¥NIXUS¥celio¥DSO¥」です。設定は【Online】接続時に反映されます。

3.1.4. PIC パス

DSO ファイル内で使用している画像ファイル、動画ファイルなどを保存しているフォルダのパスを入力します。初期値は、「C:¥NIXUS¥celio¥PIC¥」です。設定は【Online】接続時に反映されます。

3.1.5. Log パス

ログファイルを出力するフォルダのパスを入力します。ログファイルは日付別に出力されます。未入力の場合は、ログは出力されません。設定は【Online】接続時に反映されます。

3.1.6. ログ保持日数

ログファイルを保持する日数を入力します。入力した日数以前のログファイルは削除されます。未入力の場合は、ログファイルは削除されません。設定は【Online】接続時に反映されます。

3.1.7. オープン時に自動で接続する

この Excel ファイルを開いた時に、自動で【Online】に接続するかを設定します。「1」を入力するとチェックが付き、ファイルオープン時に自動で接続を行います。未入力の場合は、自動では接続しません。

3.1.8. ボタンにフォーカスを残さない

シート内で使用しているボタンをクリックした際に、フォーカスをボタンに残すか、以前フォーカスがあったセルにフォーカスを戻すかを設定します。「1」を入力するとチェックが付き、ボタンをクリックした後に、以前フォーカスがあったセルにフォーカスが移動します。未入力の場合は、フォーカスをボタンに残します。

3.2. DSO 一覧シート

celio で使用する DSO ファイルを登録するシートです。登録した DSO ファイルに全面のエフェクトとタイマーを設定することもできます。初期状態で最大 100 件まで入力できます。それ以上入力したい場合は、入力行をコピーして使用してください。

No.	名称	備考	使用	シート名	全面インエフェクト										シート名
					タイプ		パターン		スピード		オプション		使用		
					直接設定	セル値 行 列	直接設定	セル値 行 列	直接設定	セル値 行 列	直接設定	セル値 行 列			
1	sampleSample.dso	サンプルです													
2	sampleSampleChart1.dso	グラフサンプルです。													
3	sampleSampleChart2.dso	グラフサンプルです。													
4	sampleSampleCh2.dso	Channel2送信用サンプルです。													
5	sampleEffectSample.dso	エフェクト用サンプルです。													
6	sampleTimerSample.dso	タイマー用サンプルです。	✓	テンプレート (1系統)	45	B	45	C	45	D	45	E	✓	テンプレート (1系	
7	sampleTimerSample2.dso	タイマー用サンプルです。													

3.2.1. No.

DSO ファイルに関連付ける「1」からの連番を入力します。この番号はシート内で重複しないように入力してください。

3.2.2. 名称

DSO ファイル名を入力します。【環境設定】シートの【DSO パス】に設定したフォルダ内の DSO ファイルを入力してください。サブフォルダがある場合は、それも含めたパスで入力してください。

3.2.3. 備考

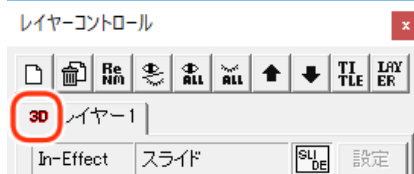
DSO ファイルについての備考を入力します。DSO ファイルがどこに使用されているなどの識別情報を入力する項目として活用してください。特に何も入力しなくても問題ありません。

3.2.4. 全面インエフェクト

DSO ファイルの全面に適用するインエフェクトについての設定を行います。

全面インエフェクト										
使用	シート名	タイプ		パターン		スピード		オプション		使用
		直接設定	セル値 行 列	直接設定	セル値 行 列	直接設定	セル値 行 列	直接設定	セル値 行 列	
✓	テンプレート (1系統)		45 B		45 C		45 D		45 E	✓

全面インエフェクトは 3D レイヤーのテロップには適用できません。



3.2.4.1. 使用

全面インエフェクトを使用する場合にチェックを付けます。「1」を入力することでチェックを付けることができます。

3.2.4.2. シート名

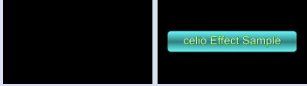



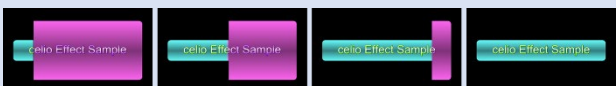
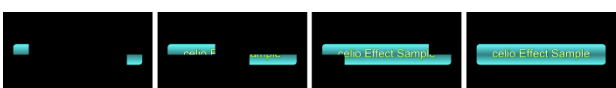
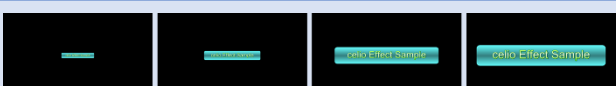

全面インエフェクト設定を入力するセルがあるシートの名称を入力します。

3.2.4.3. タイプ

全面インエフェクトに設定するタイプ(エフェクトの種類)を、直接設定またはセル値(行・列)のどちらかで設定します。

- ① 直接設定
全面インエフェクトのタイプ No.を直接入力します。
- ② セル値(行・列)
全面インエフェクトのタイプ No.を入力するセルの行番号、列番号を入力します。

■タイプ一覧

タイプ No.	タイプ	見本
1	カット	
2	ロール	
3	プッシュ	
4	フェード	
5	ワイプ	
6	スライド	
7	2DDVE	
8	3DDVE	

※タイプ=6:スライドは、DSO 内に IN スライドオブジェクトがある場合のみ有効です。IN スライドオブジェクトの設定を適用して送出します。

3.2.4.4. パターン

全面インエフェクトに設定するパターン(エフェクトの動きや方向)を、直接設定またはセル値(行・列)のどちらかで設定します。タイプ=1:カット/4:フェード/6:スライドの場合は「0」固定です。

- ① 直接設定

全面インエフェクトのパターン No.を直接入力します。

② セル値(行・列)

全面インエフェクトのパターン No.を入力するセルの行番号、列番号を入力します。

■パターン一覧(タイプ=2:ロール/3:プッシュ/5:ワイプの場合)

パターン No.	パターン	見本(タイプ=2:ロール)
1	右へ	
2	左へ	
3	下へ	
4	上へ	

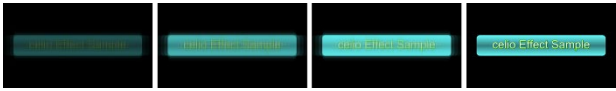
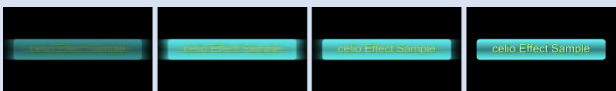
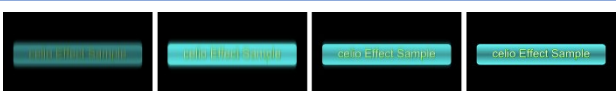
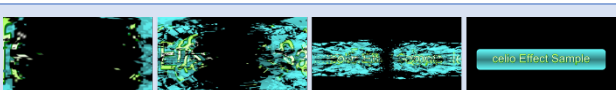
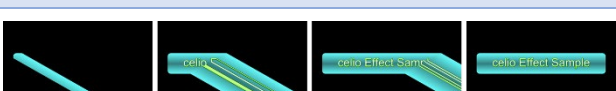

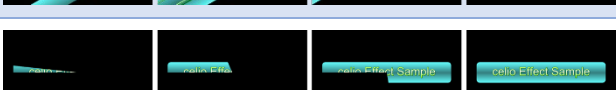

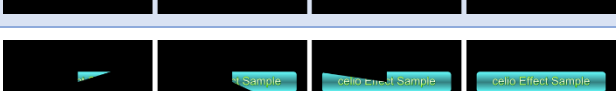



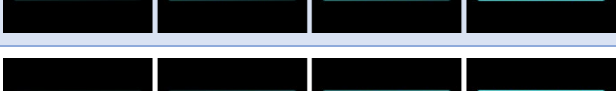


■パターン一覧(タイプ=7:2DDVE の場合)

パターン No.	パターン	見本
0	中央	
1	左中央	
2	右中央	
3	上中央	
4	下中央	
5	右下	
6	左下	
7	右上	
8	左上	

パターン No.	パターン	見本			
9	中央縦				
10	中央横				
11	左縦				
12	右縦				
13	上横				
14	下横				

■パターン一覧(タイプ=8:3DDVE の場合)

パターン No.	パターン	見本			
11	TURN 右へ				
12	TURN 左へ				
13	TURN 下へ				
14	TURN 上へ				
20	ZOOM				
21	ZOOM 右へ				
22	ZOOM 左へ				
23	ZOOM 下へ				
24	ZOOM 上へ				

パターン No.	パターン	見本
30	DEFOCUS	
31	DEFOCUS 横	
33	DEFOCUS 縦	
40	BURST	
51	STREAM 右へ	
52	STREAM 左へ	
61	WIPE 左から	
62	WIPE 右から	
63	WIPE 上から	
64	WIPE 下から	
70	FADE	
71	FADE 右へ	
72	FADE 左へ	
73	FADE 下へ	
74	FADE 上へ	

3.2.4.5. スピード

全面インエフェクトに設定するスピードを、直接設定またはセル値(行・列)のどちらかで設定します。単位は「フィールド」です。

- ① 直接設定
全面インエフェクトのスピードを直接入力します。
- ② セル値(行・列)
全面インエフェクトのスピードを入力するセルの行番号、列番号を入力します。

3.2.4.6. オプション

全面インエフェクトに設定するオプション(送出前の画面との切り替わり方など)を、直接設定またはセル値(行・列)のどちらかで設定します。

- ① 直接設定
全面インエフェクトのオプション No.を直接入力します。
- ② セル値(行・列)
全面インエフェクトのオプション No.を入力するセルの行番号、列番号を入力します。

■オプション一覧(タイプ=2:ロールの場合)

オプション No.	オプション	見本
0	リプレイス	
1	オープンドア	

■オプション一覧(タイプ=4:フェードの場合)

オプション No.	オプション	見本
0	スーパー用	
2	取りきり用	

■オプション一覧(タイプ=6:スライドの場合)

オプション No.	オプション	見本
0	通常	
2	カット出力	

■オプション一覧(タイプ=8:3DDVE の場合)

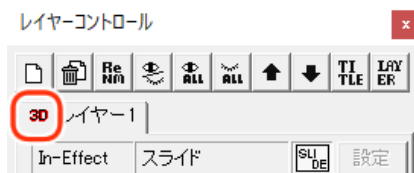
オプション No	オプション	見本
0	IN のみ	
1	OUT/IN 同時	
2	OUT/IN 順番	
3	CUTOUT+IN	

3.2.5. 全面アウトエフェクト

DSO ファイルの全面に適用するアウトエフェクトについての設定を行います。

全面アウトエフェクト													
使用	シート名	タイプ			パターン			スピード			オプション		
		直接設定	セル値		直接設定	セル値		直接設定	セル値		直接設定	セル値	
			行	列		行	列		行	列		行	列
✓	テンプレート (1系統)		49	B		49	C		49	D			

全面アウトエフェクトは 3D レイヤーのテロップには適用できません。



3.2.5.1. 使用

全面アウトエフェクトを使用する場合にチェックを付けます。「1」を入力することでチェックを付けることができます。

3.2.5.2. シート名

全面アウトエフェクト設定を入力するセルがあるシートの名称を入力します。

3.2.5.3. タイプ

全面アウトエフェクトに設定するタイプ(エフェクトの種類)を、直接設定またはセル値(行・列)のどちらかで設定します。

- ① 直接設定
全面アウトエフェクトのタイプ No.を直接入力します。
- ② セル値(行・列)
全面アウトエフェクトのタイプ No.を入力するセルの行番号、列番号を入力します。

■タイプ一覧

タイプ No.	タイプ	見本
1	カット	
2	ロール	
3	プッシュ	
4	フェード	
5	ワイプ	
6	スライド	
7	2DDVE	
8	3DDVE	

※タイプ=6:スライドは、DSO 内に OUT スライドオブジェクトがある場合のみ有効です。OUT スライドオブジェクトの設定を適用して送出します。

3.2.5.4. パターン

全面アウトエフェクトに設定するパターン(エフェクトの動きや方向)を、直接設定またはセル値(行・列)のどちらかで設定します。タイプ=1:カット/4:フェード/6:スライドの場合は「0」固定です。

① 直接設定

全面アウトエフェクトのパターン No.を直接入力します。

② セル値(行・列)







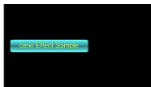
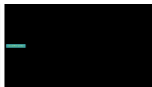
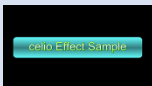

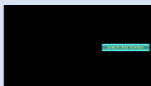
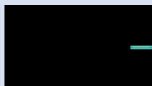




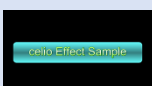
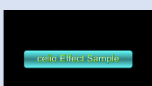


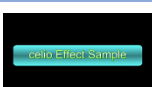
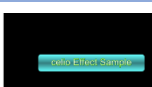
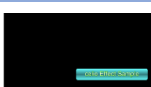
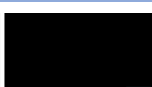
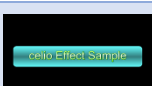
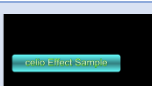
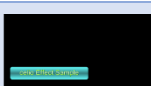
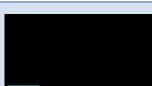
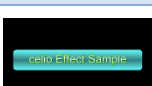
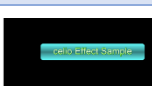
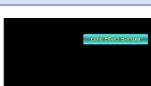
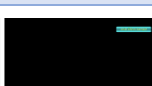
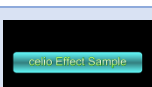
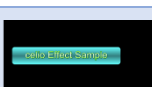
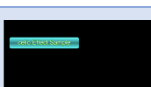
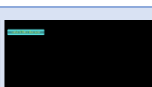
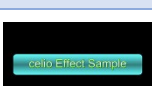
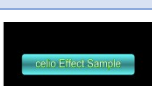
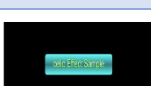
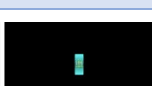
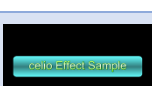
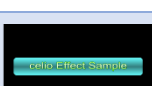

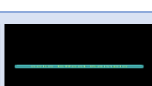
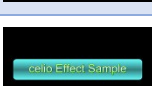
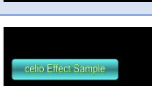
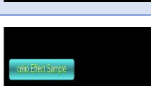
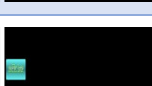
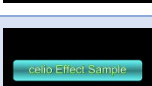
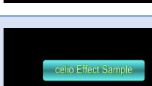
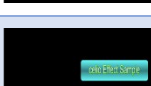
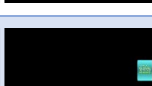
全面アウトエフェクトのパターン No.を入力するセルの行番号、列番号を入力します。

■パターン一覧(タイプ=2:ロール/3:プッシュ/5:ワイプの場合)

パターン No.	パターン	見本(タイプ=2:ロール)
1	右へ	
2	左へ	

3	下へ				
4	上へ				

■パターン一覧(タイプ=7:2DDVE の場合)

パターン No.	パターン	見本			
0	中央				
1	左中央				
2	右中央				
3	上中央				
4	下中央				
5	右下				
6	左下				
7	右上				
8	左上				
9	中央縦				
10	中央横				
11	左縦				
12	右縦				

パターン No.	パターン	見本
13	上横	
14	下横	

■パターン一覧(タイプ=8:3DDVE の場合)

パターン No.	パターン	見本
11	TURN 右へ	
12	TURN 左へ	
13	TURN 下へ	
14	TURN 上へ	
20	ZOOM	
21	ZOOM 右へ	
22	ZOOM 左へ	
23	ZOOM 下へ	
24	ZOOM 上へ	
30	DEFOCUS	
31	DEFOCUS 横	
33	DEFOCUS 縦	
40	BURST	

パターン No.	パターン	見本
51	STREAM 右へ	
52	STREAM 左へ	
61	WIPE 左から	
62	WIPE 右から	
63	WIPE 上から	
64	WIPE 下から	
70	FADE	
71	FADE 右へ	
72	FADE 左へ	
73	FADE 下へ	
74	FADE 上へ	

3.2.5.5. スピード

全面アウトエフェクトに設定するスピードを、直接設定またはセル値(行・列)のどちらかで設定します。単位は「フィールド」です。

③ 直接設定

全面アウトエフェクトのスピードを直接入力します。

④ セル値(行・列)

全面アウトエフェクトのスピードを入力するセルの行番号、列番号を入力します。

3.2.5.6. オプション

全面アウトエフェクトに設定するオプションです。使用しません。

3.2.6. タイマー

celio でタイマーを使用する場合に設定する項目です。

使用	タイマー No.	シート名	タイマー 初期値												動作		
			日		時		分		秒		ミリ秒		表示と同時にスタート	クリアと同時にストップ			
			直接設定	セル値 行 列	直接設定	セル値 行 列	直接設定	セル値 行 列	直接設定	セル値 行 列	直接設定	セル値 行 列					
✓	1	テンプレート (1系統)															

3.2.6.1. 使用

タイマーを使用する場合にチェックを付けます。
「1」を入力することでチェックを付けることができます。

3.2.6.2. タイマーNo.

使用するタイマーNo.を入力します。
タイマーNo.は、【タイマー設定】シートに登録した【タイマーNo.】を指します。
詳しくは、「3.3 タイマー設定シート」を参照してください。

3.2.6.3. 初期値

タイマーをスタートする値を設定します。【タイマー設定】シートで【タイプ】を「2:時計」に設定した場合は、適用されません。【タイプ】を「1:カウントダウン」に設定した場合は、必ず設定します。
タイマーを表示する時に設定され、タイマーがカウント中は設定できません。

3.2.6.3.1. シート名

タイマーの初期値を入力するセルがあるシートの名称を入力します。

3.2.6.3.2. 日

「日」(日付け)の初期値を設定します。

- ① 直接設定
「日」の値を直接入力します。
- ② セル値(行・列)
「日」の値を入力するセルの行番号、列番号を入力します。

3.2.6.3.3. 時

「時」(時間)の初期値を設定します。

- ① 直接設定
「時」の値を直接入力します。
- ② セル値(行・列)
「時」の値を入力するセルの行番号、列番号を入力します。

3.2.6.3.4. 分

「分」の初期値を設定します。

- ① 直接設定

「分」の値を直接入力します。

② セル値(行・列)

「分」の値を入力するセルの行番号、列番号を入力します。

3.2.6.3.5. 秒

「秒」の初期値を設定します。

① 直接設定

「秒」の値を直接入力します。

② セル値(行・列)

「秒」の値を入力するセルの行番号、列番号を入力します。

3.2.6.3.6. ミリ秒

「ミリ秒」の初期値を設定します。

① 直接設定

「ミリ秒」の値を直接入力します。

② セル値(行・列)

「ミリ秒」の値を入力するセルの行番号、列番号を入力します。

3.2.6.4. 動作

タイマーの動作を設定します。

3.2.6.4.1. 表示と同時にスタート

タイマー表示と同時にカウントアップ、またはカウントダウンをスタートする場合にチェックを付けます。「1」を入力することでチェックを付けることができます。【タイマー設定】シートの【タイプ】が「2:時計」の場合は適用されません。タイマーが停止中の場合のみ有効です。

3.2.6.4.2. クリアと同時にストップ

タイマーをクリアすると同時にストップする場合にチェックを付けます。「1」を入力することでチェックを付けることができます。【タイマー設定】シートの【タイプ】が「2:時計」の場合は適用されません。タイマーがカウント中の場合のみ有効です。

3.3. タイマー設定シート

celio で使用するタイマーのタイプ、タグ名、表示を設定するシートです。最大 9 件まで入力できます。1 つの DSO 内で使用できるタイマーの数は 1 つです。

タイマー No.	名称	タイプ	タグ名												備考			
			日	時	分	秒	ミリ秒	分	秒	ミリ秒	分	秒	ミリ秒					
1	Timer Sample 1	1	100	10	1	既切	100	10	1	既切	100	10	1	既切	100	10	1	
2	Timer Sample 2	2					H10	H1	H_Sep		M10	M1	M_Sep		S10	S1		Back
3																		
4																		
5																		
6																		
7																		
8																		
9																		
10																		
11																		
12																		
13																		
14																		

3.3.1. タイマーNo.

【DSO 一覧】シートの【タイマーNo.】で使用する、タイマーの No.です。変更はできません。

3.3.2. 名称

タイマーの名称を入力します。タイマー情報を入力し、タイマーを区別する項目として活用してください。特に何も入力しなくても問題はありません。

3.3.3. タイプ

タイマーのタイプ No.を入力します。

■タイプ一覧

タイプ No.	タイプ
0	カウントアップ
1	カウントダウン
2	時計(24 時間表示)

3.3.4. タグ名

DSO 内の設定を行いたいオブジェクトのタグ名を入力します。タイマーのタグは日(日付)、時(時間)、分、秒、ミリ秒、区切りに設定できます。区切以外は 3 桁まで設定ができ、位ごとにタグを割り当てる必要があります。また、タイマーのタグ名は重複しないように設定してください。

3.3.4.1. 日

「日」のタグ名を設定します。【タイマー設定】シートで【タイプ】を「2:時計」に設定した場合は、使用しません。



① 100

「日」の「百の位」の数値のタグ名を入力します。

② 10

「日」の「十の位」の数値のタグ名を入力します。

③ 1

「日」の「一の位」の数値のタグ名を入力します。

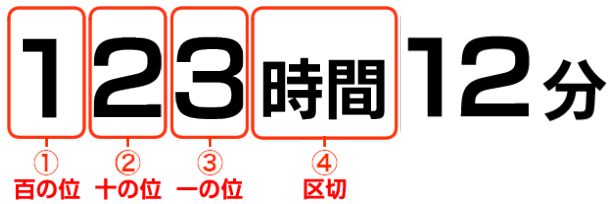
④ 区切

「日」と「時」の区切りとして使用しているオブジェクトのタグ名を入力します。

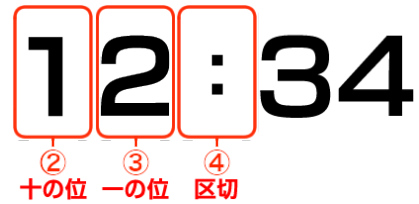
3.3.4.2. 時

「時」のタグ名を設定します。

タイプ 0(カウントアップ)/1(カウントダウン)の設定例



タイプ 2(時計)の設定例



- ① 100
「時」の「百の位」の数値のタグ名を入力します。【タイマー設定】シートで【タイプ】を「2:時計」に設定した場合は、使用しません。
- ② 10
「時」の「十の位」の数値のタグ名を入力します。
- ③ 1
「時」の「一の位」の数値のタグ名を入力します。
- ④ 区切
「時」と「分」の区切りとして使用しているオブジェクトのタグ名を入力します。

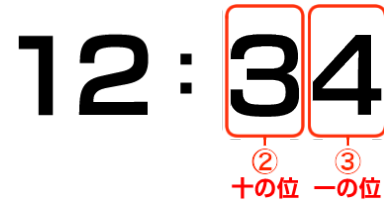
3.3.4.3. 分

「分」のタグ名を設定します。

タイプ 0(カウントアップ)/1(カウントダウン)の設定例



タイプ 2(時計)の設定例



- ① 100
「分」の「百の位」の数値のタグ名を入力します。【タイマー設定】シートで【タイプ】を「2:時計」に設定した場合は、使用しません。
- ② 10
「分」の「十の位」の数値のタグ名を入力します。
- ③ 1
「分」の「一の位」の数値のタグ名を入力します。
- ④ 区切
「分」と「秒」の区切りとして使用しているオブジェクトのタグ名を入力します。

3.3.4.4. 秒

「秒」のタグ名を設定します。【タイマー設定】シートで【タイプ】を「2:時計」に設定した場合は、使用しません。



- ① 100
「秒」の「百の位」の数値のタグ名を入力します。
- ② 10
「秒」の「十の位」の数値のタグ名を入力します。
- ③ 1
「秒」の「一の位」の数値のタグ名を入力します。
- ④ 区切
「秒」と「ミリ秒」の区切りとして使用しているオブジェクトのタグ名を入力します。

3.3.4.5. ミリ秒

「ミリ秒」のタグ名を設定します。【タイマー設定】シートで【タイプ】を「2:時計」に設定した場合は、使用しません。



- ① 100
「ミリ秒」の「百の位」の数値のタグ名を入力します。
- ② 10
「ミリ秒」の「十の位」の数値のタグ名を入力します。
- ③ 1
「ミリ秒」の「一の位」の数値のタグ名を入力します。

3.3.4.6. 背景

タイマーの背景になるオブジェクトのタグ名を設定します。タイマー用のオブジェクトの最背面に表示されます。

3.3.4.7. スライド

タイマーにエリアスライドによる動きをつける場合にタグ名を設定します。

3.3.4.7.1. IN

IN スライドのタグ名を入力します。

3.3.4.7.2. OUT

OUT スライドのタグ名を入力します。

3.3.5. 0 表示

「0」の表示を設定します。例えば、1 分を 001 分のように表示する際に便利な機能です。

3.3.5.1. 日

「日」の「0」の表示を使用する場合にチェックを付けます。

「1」を入力することでチェックを付けることができます。

【タイマー設定】シートで【タイプ】を「2:時計」に設定した場合は、使用しません。



① 100

「日」の「百の位」を「0」表示するときにチェックを付けます。

② 10

「日」の「十の位」を「0」表示するときにチェックを付けます。

③ 1

「日」の「一の位」を「0」表示するときにチェックを付けます。

3.3.5.2. 時

「時」の「0」の表示を使用する場合にチェックを付けます。

「1」を入力することでチェックを付けることができます。



① 100

「時」の「百の位」を「0」表示するときにチェックを付けます。【タイマー設定】シートで【タイプ】を「2:時計」に設定した場合は、使用しません。

② 10

「時」の「十の位」を「0」表示するときにチェックを付けます。

③ 1

「時」の「一の位」を「0」表示するときにチェックを付けます。【タイマー設定】シートで【タイプ】を「2:時計」に設定した場合は、使用しません。

3.3.5.3. 分

「分」の「0」の表示を使用する場合にチェックを付けます。

「1」を入力することでチェックを付けることができます。

【タイマー設定】シートで【タイプ】を「2:時計」に設定した場合は、使用しません。

000分 **23**秒

① ② ③
百の位 十の位 一の位

① 100

「分」の「百の位」を「0」表示するときにチェックを付けます。

② 10

「分」の「十の位」を「0」表示するときにチェックを付けます。

③ 1

「分」の「一の位」を「0」表示するときにチェックを付けます。

3.3.5.4. 秒

「秒」の「0」の表示を使用する場合にチェックを付けます。

「1」を入力することでチェックを付けることができます。

【タイマー設定】シートで【タイプ】を「2:時計」に設定した場合は、使用しません。

000秒 **234**

① ② ③
百の位 十の位 一の位

① 100

「秒」の「百の位」を「0」表示するときにチェックを付けます。

② 10

「秒」の「十の位」を「0」表示するときにチェックを付けます。

③ 1

「秒」の「一の位」を「0」表示するときにチェックを付けます。

3.4. タグ設定シート

各 DSO ファイル内のオブジェクトに付けたタグについての設定情報を入力するシートです。
DSO ファイル内に同名のタグがある場合は、同名の全てのタグに同じ設定が適用されます。

DSO			タグ名		置換え文字列									
No.	名称	タグ名	直接置換え		セルの値で置換え									
			使用	置換え文字列	シート名	セル	繰り返し数	追加文字		数値	置換え範囲			
						行	列	前	後	+表示	文字色	フォント	フォントサイズ	
1	sample*sample.dso	TEXT			テンプレート (1系統)	5	D							
1	sample*sample.dso	IMAGE			テンプレート (1系統)	7	D							
1	sample*sample.dso	IN_SLIDE												
2	sample*sampleChart1.dso	CHART	✓	sample*Chart1.bmp										
3	sample*sampleChart2.dso	NAME			テンプレート (1系統)	37	C	3						
3	sample*sampleChart2.dso	BAR1			テンプレート (1系統)									
3	sample*sampleChart2.dso	BAR2			テンプレート (1系統)									
3	sample*sampleChart2.dso	BAR3			テンプレート (1系統)									

3.4.1. DSO・タグ名

使用する DSO ファイルの情報を入力するエリアです。

DSO			タグ名
No.	名称		
1	sample*sample.dso	TEXT	
1	sample*sample.dso	IMAGE	
1	sample*sample.dso	IN_SLIDE	

3.4.1.1. No

【DSO 一覧】シートに登録した【No】を入力します。

3.4.1.2. 名称

入力した【No】に該当する DSO の名称が、【DSO 一覧】シートから参照して表示されます。

3.4.1.3. タグ名

DSO 内の設定を行いたいオブジェクトのタグ名を入力します。

3.4.2. 置換え文字列

入力したタグに置き換える文字列についての設定を行います。

置換え文字列													
直接置換え			セルの値で置換え							置換え範囲			
使用	置換え文字列	繰り返し数	シート名	セル		繰り返し数		追加文字		数値 +表示	文字色	フォント	フォント サイズ
				行	列	行	列	前	後				
			テンプレート (1系統)	5	D								
			テンプレート (1系統)	7	D								

3.4.2.1. 直接置換え

置き換える文字列を直接入力する項目です。

① 使用

直接置換え設定を使用する場合にチェックを付けます。

「1」を入力することでチェックを付けることができます。

② 置換え文字列

直接置き換える文字列を入力します。

③ 繰り返し数

同じ内容で複数のタグを置き換える場合に、その回数を入力します。

【繰り返し数】を使用する場合は、作画ソフト上で対象のタグ名を同名にした上で末尾に連番を付与してください。

タグ設定シートでタグ名を入力する場合は、末尾の連番を除いた名称を入力してください。



3.4.2.2. セルの値で置換え

置き換える文字列を入力するセルの設定を行う項目です。

① シート名

置き換える文字列を入力するセルがあるシートの名称を入力します。

② セル(行・列)

置き換える文字列を入力するセルの行番号と列番号を入力します。



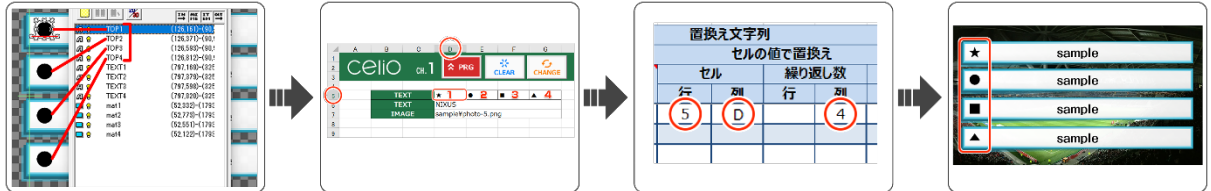
③ 繰り返し数(行・列)

指定したセルから行方向または、列方向に繰り返す回数を入力します。

【繰り返し数】を使用する場合は、作画ソフト上で対象のタグ名を同名にした上で末尾に連番を付与してください。表形式で表示する DSO ファイルのタグに設定する場合などに使用してください。

行と列はどちらか一方のみ入力してください。

タグ設定シートでタグ名を入力する場合は、末尾の連番を除いた名称を入力してください。



④ 追加文字(前・後)

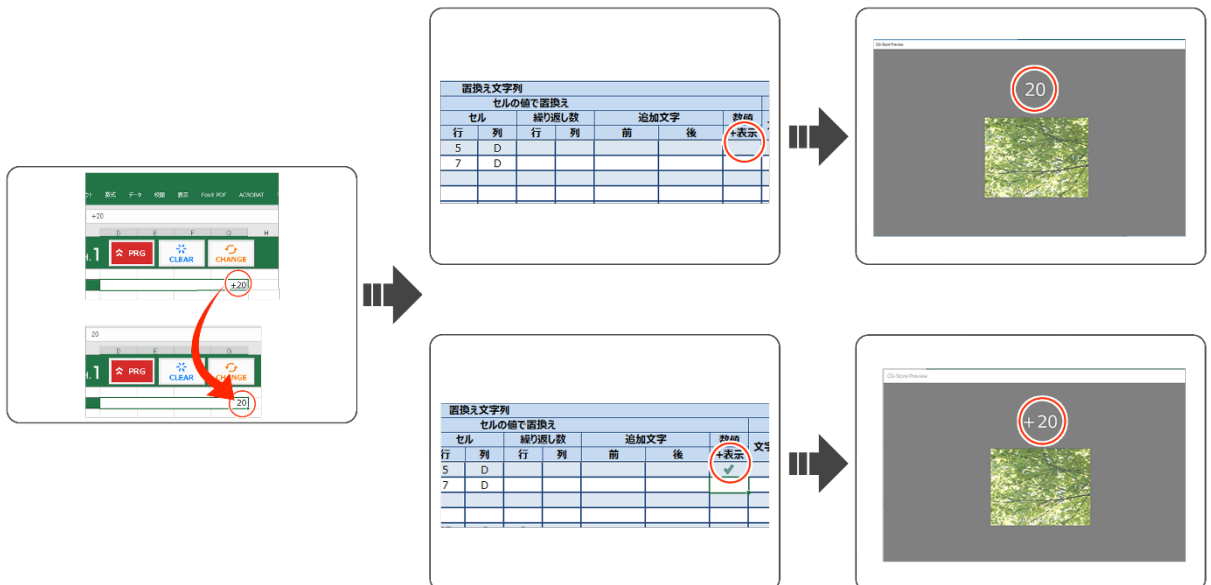
置き換える文字列の前・後に追加する文字列を入力します。



⑤ 数値(+表示)

置き換える文字列が数字の場合でかつ、「+」を表示したい場合にチェックを付けます。

「1」を入力することでチェックを付けることができます。



※セルにマイナス数値を入力すると、「-表示」になります。

※セルに「0」を入力すると、「±0」と表示されます。

3.4.2.3. 置換え範囲

置き換える文字列の範囲について設定する項目です。

この項目を使用した場合、【追加文字(前・後)】と、【数値(+表示)】の設定は無効になります。

① 文字色

置き換える文字列を入力するセルに設定されている文字色を、タグに反映する場合にチェックを付けます。「1」を入力することでチェックを付けることができます。

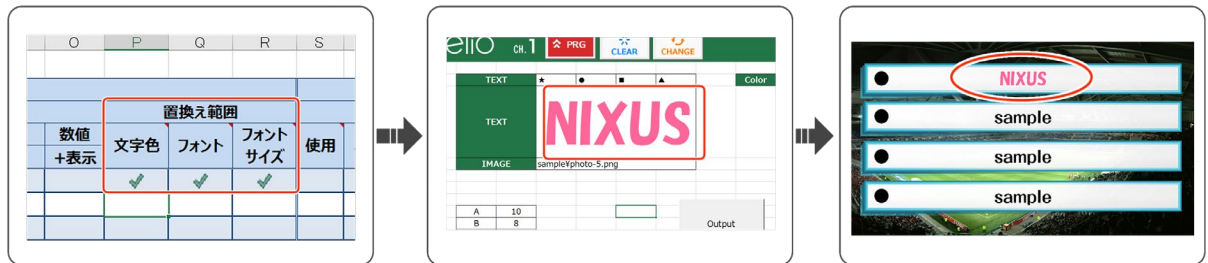
② フォント

置き換える文字列を入力するセルに設定されているフォントを、タグに反映する場合にチェックを付けます。「1」を入力することでチェックを付けることができます。

※【Online】を起動する端末に指定のフォントがインストールされている必要があります。

③ フォントサイズ

置き換える文字列を入力するセルに設定されているフォントサイズを、タグに反映する場合にチェックを付けます。「1」を入力することでチェックを付けることができます。



3.4.3. 表示・非表示

入力したタグが設定されたオブジェクトの、表示・非表示についての設定を行います。

S	T	U	V	W	X	Y	Z	AA	AB	AC	AD
表示・非表示											
直接設定			セルの値で設定								
使用	表示・非表示	繰り返し数	シート名	セル		繰り返し数		表示条件		非表示条件	
				行	列	行	列	入力あり	特定値	入力あり	特定値
			テンプレート(1系統)	5	D						

3.4.3.1. 直接設定

表示・非表示を直接設定する項目です。

① 使用

直接設定を使用する場合にチェックを付けます。

「1」を入力することでチェックを付けることができます。

② 表示・非表示

タグが設定されたオブジェクトを表示する場合は、「1」を入力します(緑色の円形が表示されます)。

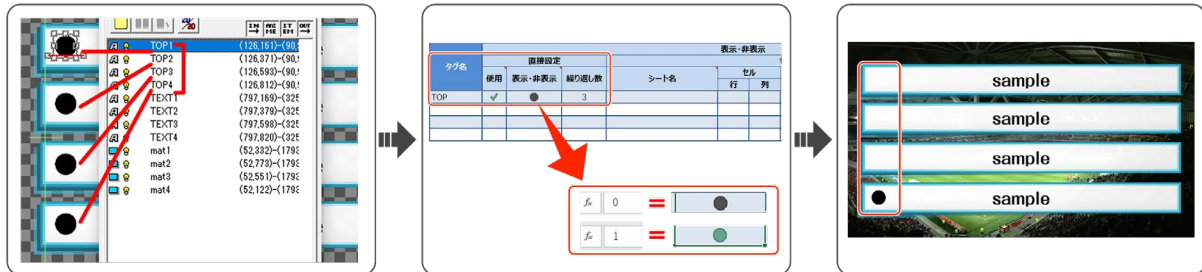
非表示にする場合は、「0」を入力します(グレーの円形が表示されます)。

③ 繰り返し数

複数のタグを表示・非表示にする場合に、その回数を入力します。

【繰り返し数】を使用する場合は、作画ソフト上で対象のタグ名を同名にした上で末尾に連番を付与してください。

タグ設定シートでタグ名を入力する場合は、末尾の連番を除いた名称を入力してください。



3.4.3.2. セルの値で設定

表示・非表示の条件を入力するセルの設定を行う項目です。

① シート名

表示・非表示の条件を入力するセルがあるシートの名称を入力します。

② セル(行・列)

表示・非表示の条件を入力するセルの行番号、列番号を入力します。

③ 繰り返し数

指定したセルから行方向または、列方向に繰り返す回数を入力します。

【繰り返し数】を使用する場合は、作画ソフト上で対象のタグ名を同名にした上で末尾に連番を付与してください。表形式で表示する DSO ファイルのタグに設定する場合などに使用してください。

行と列はどちらか一方のみ入力してください。

タグ設定シートでタグ名を入力する場合は、末尾の連番を除いた名称を入力してください。

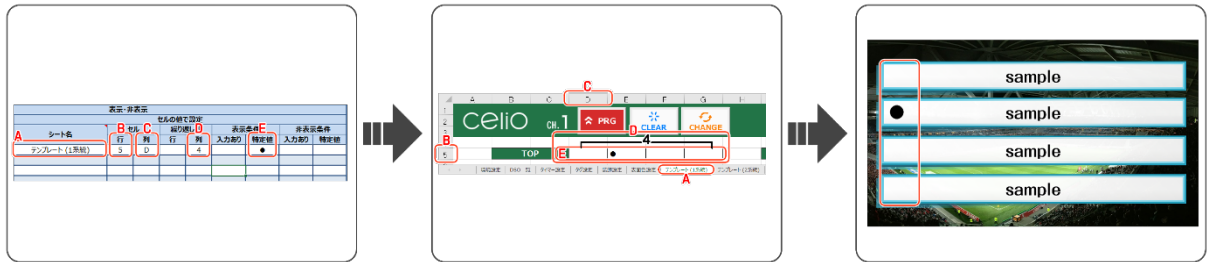
④ 表示条件(入力あり/特定値)

タグが設定されたオブジェクトを表示する条件を入力します。

【入力あり】…「1」を入力することでチェックを付けることができます。指定のセルに何かしら入力されている場合、オブジェクトを表示します。



【特定値】…特定値に入力した値と、指定のセルに入力された値が同じ場合、オブジェクトを表示します。



⑤ 非表示条件(入力あり/特定値)

タグが設定されたオブジェクトを非表示にする条件を入力します。

【入力あり】…「1」を入力することでチェックを付けることができます。指定のセルに何かしら入力されている場合、オブジェクトを非表示にします。

【特定値】…特定値に入力した値と、指定のセルに入力された値が同じ場合、オブジェクトを非表示にします。

※【表示条件】と【非表示条件】の併用はできません。また、【入力あり】と【特定値】の併用はできません。

3.4.4. リサイズ

入力したタグが設定されたオブジェクトの位置とサイズの設定を行います。

リサイズ													
直接設定					セルの値で設定								
使用	X	Y	W	H	シート名	X		Y		W		H	
						行	列	行	列	行	列	行	列
					テンプレート (1系統)	37	E	37	F	37	G	37	H
					テンプレート (1系統)	38	E	38	F	38	G	38	H
					テンプレート (1系統)	39	E	39	F	39	G	39	H

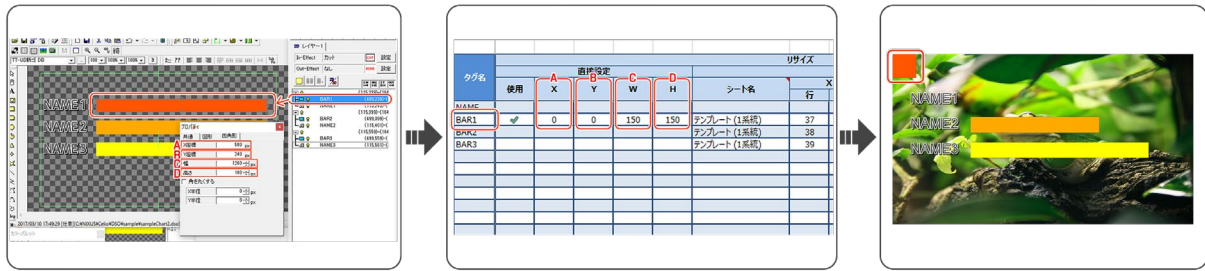
3.4.4.1. 直接設定

タグが設定されたオブジェクトの位置とサイズを直接設定する項目です。

- ① 使用
直接設定を使用する場合にチェックを付けます。
「1」を入力することでチェックを付けることができます。
- ② X
タグが設定されたオブジェクトの X 座標を設定します。
- ③ Y
タグが設定されたオブジェクトの Y 座標を設定します。
- ④ W
タグが設定されたオブジェクトの幅(pixel)を設定します。

⑤ H

タグが設定されたオブジェクトの高さ(pixel)を設定します。



3.4.4.2. セルの値で設定

タグが設定されたオブジェクトの位置とサイズを入力するセルの設定を行う項目です。

① シート名

タグが設定されたオブジェクトの位置とサイズを入力するセルがあるシートの名称を入力します。

② X(行・列)

タグが設定されたオブジェクトの X 座標を入力するセルの行番号と列番号を入力します。

③ Y(行・列)

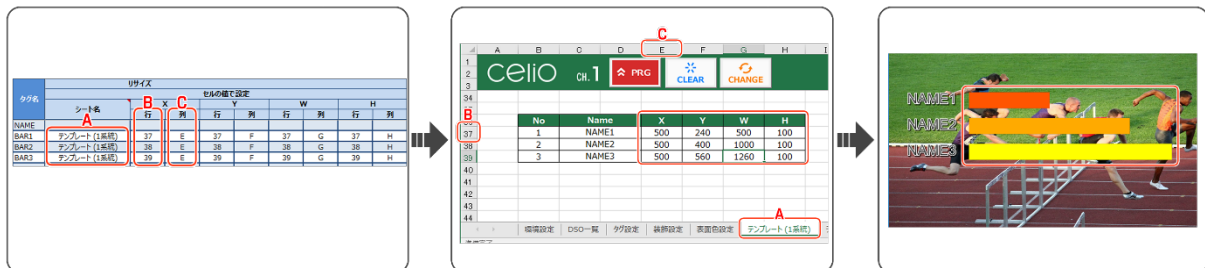
タグが設定されたオブジェクトの Y 座標を入力するセルの行番号と列番号を入力します。

④ W(行・列)

タグが設定されたオブジェクトの幅(pixel)を入力するセルの行番号と列番号を入力します。

⑤ H(行・列)

タグが設定されたオブジェクトの高さ(pixel)を入力するセルの行番号と列番号を入力します。



3.4.5. 全体装飾

入力したタグが設定されたオブジェクトの、装飾についての設定を行います。

シート名	表面色		装飾 全削除	全体装飾															
	使用	直接設定		装飾1				装飾2				装飾10							
				表面色No	使用	直接設定	表面色No	使用	直接設定	表面色No	使用	直接設定	表面色No						
	行	列		行	列	行	列	行	列	行	列	行	列	行	列	行	列	行	列

※文字列オブジェクト全体にボード装飾を設定する場合は、あらかじめ作画ソフトで【全体飾りを有効にする。】のプロパティにチェックを付ける必要があります。詳しくは、「3.5.6 装飾-ボード」を参照してください。

3.4.5.1. シート名

装飾についての設定を入力するセルがあるシートの名称を入力します。

3.4.5.2. 表面色

タグが設定されたオブジェクトの、全体の表面色についての設定を行います。

① 使用

表面色の設定を使用する場合にチェックを付けます。

「1」を入力することでチェックを付けることができます。

② 表面色 No

表面色 No を入力して、オブジェクト全体の色を設定します。

表面色 No を、行・列(セルの値)または、直接設定のどちらかで設定します。

表面色 No は、【表面色設定】シートに登録した【表面色 No】を指します。

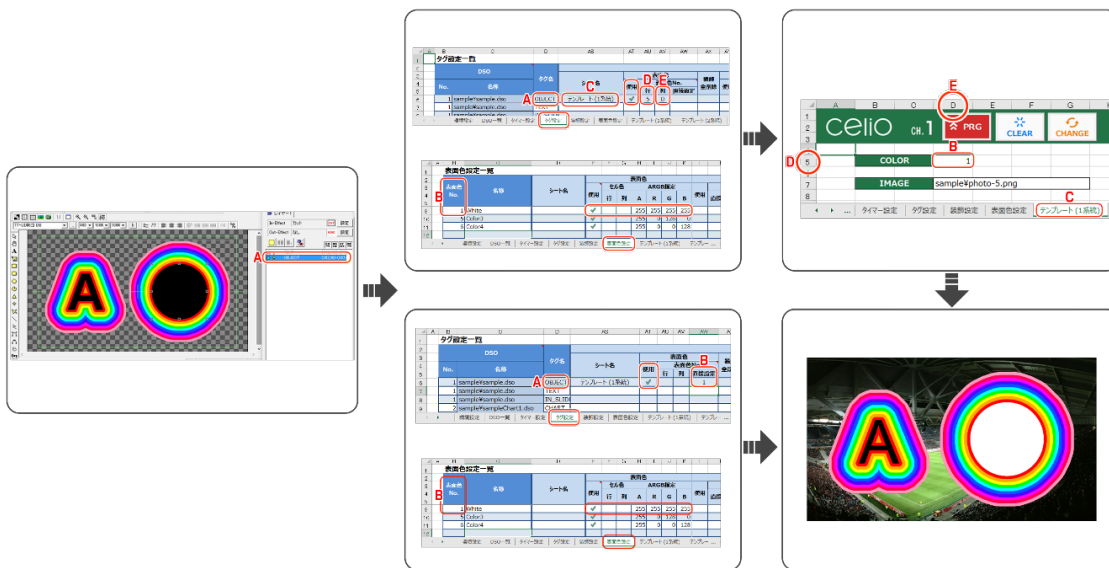
詳しくは、「3.6 表面色設定シート」を参照してください。

・ 行・列

表面色 No を入力するセルの行番号と列番号を入力します。

・ 直接設定

表面色 No を直接入力します。



3.4.5.3. 装飾全削除

タグが設定されたオブジェクトの、全体の装飾を全て削除する場合にチェックを付けます。

「1」を入力することでチェックを付けることができます。



3.4.5.4. 装飾 1～10

タグが設定されたオブジェクトの、全体に適用する装飾(最大 10 個)についての設定を行います。

① 使用

装飾の設定を使用する場合にチェックを付けます。

「1」を入力することでチェックを付けることができます。

② 装飾 No

装飾 No を入力して装飾の種類を設定します。

装飾 No を、行・列(セルの値)または、直接設定のどちらかで設定します。

装飾 No は、【装飾設定】シートに登録した【装飾 No】を指します。

詳しくは、「3.5 装飾設定シート」を参照してください。

- 行・列

装飾 No を入力するセルの行番号と列番号を入力します。

- 直接設定

装飾 No を直接入力します。

③ 表面色 No

表面色 No を入力して装飾の色を設定します。

表面色 No を、行・列(セルの値)または、直接設定のどちらかで設定します。

表面色 No は、【表面色設定】シートに登録した【表面色 No】を指します。

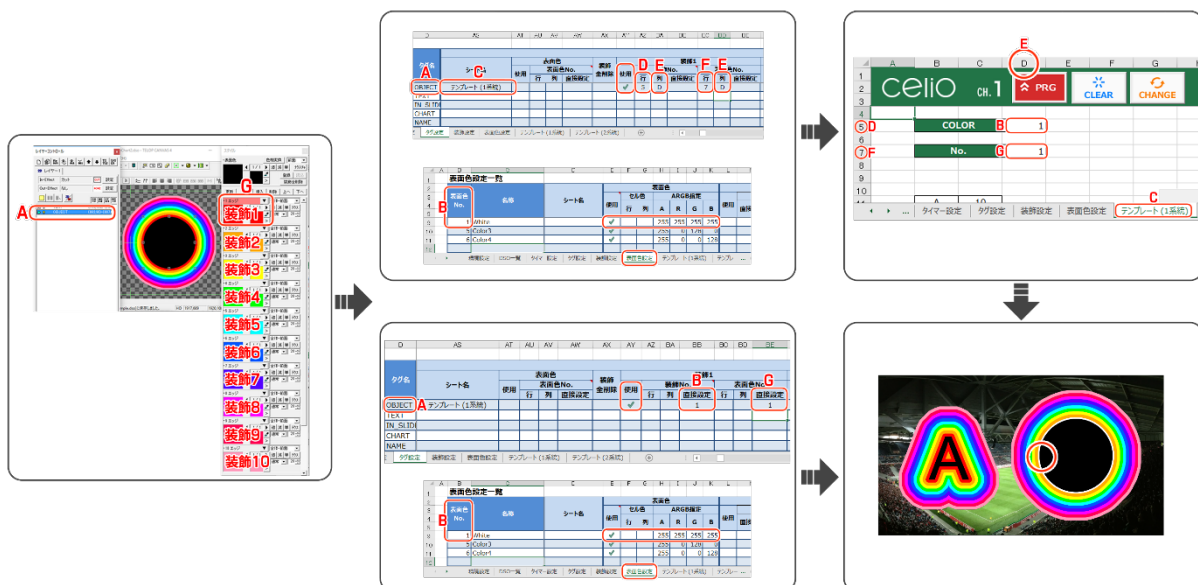
詳しくは、「3.6 表面色設定シート」を参照してください。

- 行・列

表面色 No を入力するセルの行番号と列番号を入力します。

- 直接設定

表面色 No を直接入力します。



3.4.6. 文字列装飾

入力したタグの文字列装飾についての設定を行います。

文字列装飾																	
シート名	表面色			装飾 全削除	装飾1			装飾2			...	装飾10					
	使用	表面色No	直接設定		使用	表面色No	直接設定	使用	表面色No	直接設定		使用	表面色No	直接設定			

※タグが設定されたオブジェクトが【文字列】オブジェクトではない場合、装飾は適用されません。

3.4.6.1. シート名

文字列装飾についての設定を入力するセルがあるシートの名称を入力します。

3.4.6.2. 表面色

文字列オブジェクトの表面色についての設定を行います。

① 使用

表面色の設定を使用する場合にチェックを付けます。

「1」を入力することでチェックを付けることができます。

② 表面色 No

表面色 No を入力して装飾の色を設定します。

表面色 No を、行・列(セルの値)または、直接設定のどちらかで設定します。

表面色 No は、【表面色設定】シートに登録した【表面色 No】を指します。

詳しくは、「3.6 表面色設定シート」を参照してください。

• 行・列

表面色 No を入力するセルの行番号と列番号を入力します。

• 直接設定

表面色 No を直接入力します。



3.4.6.3. 装飾全削除

文字列の装飾を全て削除する場合にチェックを付けます。
「1」を入力することでチェックを付けることができます。



3.4.6.4. 装飾 1～10

文字列オブジェクトに適用する装飾(最大 10 個)についての設定を行います。

① 使用

文字列装飾の設定を使用する場合にチェックを付けます。

「1」を入力することでチェックを付けることができます。

② 装飾 No

装飾 No を入力して装飾の種類を設定します。

装飾 No を、行・列(セルの値)または、直接設定のどちらかで設定します。

装飾 No は、【装飾設定】シートに登録した【装飾 No】を指します。

詳しくは、「3.5 装飾設定シート」を参照してください。

- 行・列

装飾 No を入力するセルの行番号と列番号を入力します。

- 直接設定

装飾 No を直接入力します。

③ 表面色 No

表面色 No を入力して装飾の色を設定します。

表面色 No を、行・列(セルの値)または、直接設定のどちらかで設定します。

表面色 No は、【表面色設定】シートに登録した【表面色 No】を指します。

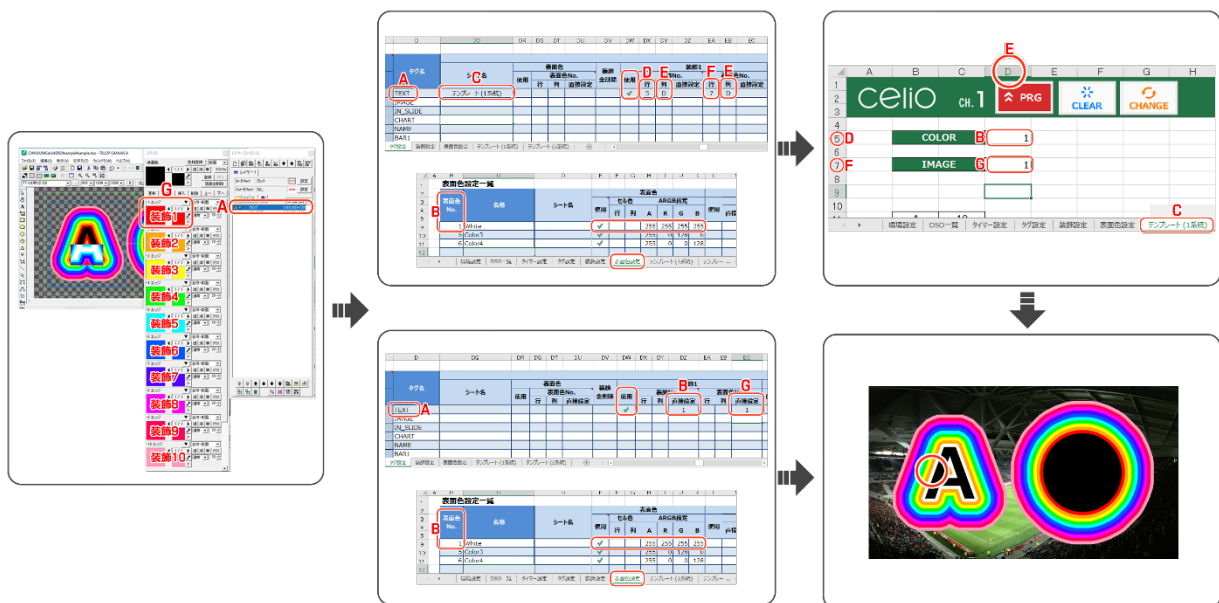
詳しくは、「3.6 表面色設定シート」を参照してください。

- 行・列

表面色 No を入力するセルの行番号と列番号を入力します。

- 直接設定

表面色 No を直接入力します。



3.4.7. スライド

入力したタグが設定されたスライドオブジェクト(IN スライド/OUT スライド)についての設定を行います。
【モード/方向/スピードモード/速度/開始デレイ】全ての項目を設定する必要があります。
スライドオブジェクト(IN スライド/OUT スライド)により、全面はもちろん、一部のエリアにのみ IN エフェクト/OUT エフェクトを設定できます。

GO	GP	GQ	GR	GS	GT	GU	GV	GW	GX	GY	GZ	HA	HB	HC	HD	HE
スライド																
使用	シート名	モード			方向			スピードモード			速度			開始デレイ		
		行	列	直接設定	行	列	直接設定	行	列	直接設定	行	列	直接設定	行	列	直接設定
✓	テンプレート (1系統)			3			0			0			15			0

※【DSO 一覧】シートで全面エフェクトの設定をした場合、【スライド】の設定は適用されません。
※タグが設定されたオブジェクトが【IN スライド/OUT スライド】オブジェクトではない場合、設定は適用されません。

3.4.7.1. 使用

スライド設定を使用する場合にチェックを付けます。
「1」を入力することでチェックを付けることができます。

3.4.7.2. シート名

スライド設定を入力するセルがあるシートの名称を入力します。

3.4.7.3. モード

スライドモードを入力してスライドの種類を設定します。
スライドモードを、行・列(セルの値)または、直接設定のどちらかで設定します。

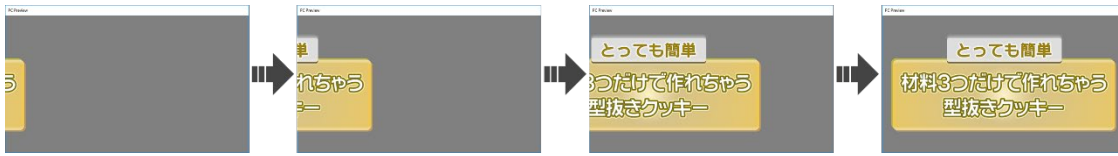
- ① 行・列
スライドモードを入力するセルの行番号と列番号を入力します。
- ② 直接設定
スライドモードを直接入力します。

■スライドモード一覧

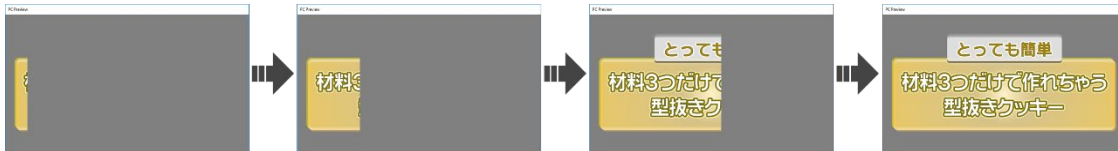
IN		OUT	
モード No	スライドモード	モード No	スライドモード
3	プッシュイン	-3	プッシュクリア
4	ワイプイン	-4	ワイプクリア
10	フェードイン	11	フェードアウト

※IN スライドモードは、【IN スライド】オブジェクトにのみ設定できます。
※OUT スライドモードは、【OUT スライド】オブジェクトにのみ設定できます。

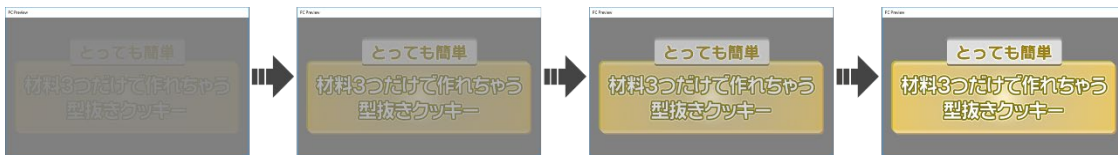
◆プッシュ



◆ワイプ



◆フェード



3.4.7.4. 方向

スライド方向を、行・列(セルの値)または、直接設定のどちらかで設定します。

- ① 行・列
スライド方向を入力するセルの行番号と列番号を入力します。
- ② 直接設定
スライド方向を直接入力します。

■スライド方向一覧

方向 No	スライド方向
0	右へ
1	左へ
2	下へ
3	上へ

※スライド方向の設定は、フェードイン/フェードアウトの場合は無効です。

3.4.7.5. スピードモード

スライドのスピードモードを、行・列(セルの値)または、直接設定のどちらかで設定します。

- ① 行・列
スライドのスピードモードを入力するセルの行番号と列番号を入力します。
- ② 直接設定
スライドのスピードモードを直接入力します。

■スライドスピードモード一覧

スピードモード No	スライドスピードモード
0	総フレーム数
1	1ステップあたりの移動量

3.4.7.6. 速度

スライドの速度を、行・列(セルの値)または、直接設定のどちらかで設定します。

① 行・列

スライド速度を入力するセルの行番号と列番号を入力します。

② 直接設定

スライド速度を総フレーム数で直接入力します。

3.4.7.7. 開始ディレイ

スライドの開始ディレイを、行・列(セルの値)または、直接設定のどちらかで設定します。

① 行・列

スライド開始ディレイを入力するセルの行番号と列番号を入力します。

② 直接設定

スライド開始ディレイを総フレーム数で直接入力します。

3.5. 装飾設定シート

【タグ設定】シートの【全体装飾】、【文字列装飾】に入力する装飾設定を登録するシートです。

【装飾 No】ごとに、【エッジ】、【シャドウ】、【ボード】のどれか 1 つを登録します。

装飾設定一覧			装飾															
装飾 No.	名称	シート名	エッジ			シャドウ			ボード			その他			その他			
			使用	タイプ	サイズ	使用	タイプ	距離	使用	タイプ	方向	使用	タイプ	サイズ				
			行	列	直接設定	行	列	直接設定	行	列	直接設定	行	列	直接設定	行	列	直接設定	
1	Edge1		✓		0													
2	Shadow1		✓					10										
3	Board1																	20
4	Edge2		✓		1			15										
5	Shadow2																	
6	Board2																	15

3.5.1. 装飾 No

装飾設定に関連付ける 1 からの連番を入力します。
この番号はシート内で重複しないように入力してください。

3.5.2. 名称

装飾設定の名称を入力してください。
特に入力しなくても問題ありません。

3.5.3. シート名

装飾設定を入力するセルがあるシートの名称を入力します。

3.5.4. 装飾-エッジ

エッジ装飾について設定する項目です。

エッジ						
使用	タイプ			サイズ		
	行	列	直接設定	行	列	直接設定
<input checked="" type="checkbox"/>			0			10

3.5.4.1. 使用

エッジ装飾の設定をする場合にチェックを付けます。
「1」を入力することでチェックを付けることができます。

3.5.4.2. タイプ

エッジのタイプを、行・列(セルの値)または、直接設定のどちらかで設定します。

- ① 行・列
エッジタイプを入力するセルの行番号、列番号を入力します。
- ② 直接設定
エッジタイプを直接入力します。

■エッジタイプ一覧

タイプ No	エッジタイプ	サンプル
0	通常	
1	ソフトエッジ	
2	角エッジ	
3	ぼかしエッジ 1	
4	ぼかしエッジ 2	

3.5.4.3. サイズ

エッジのサイズを、行・列(セルの値)または、直接設定のどちらかで設定します。

- ① 行・列
エッジサイズを入力するセルの行番号、列番号を入力します。
- ② 直接設定
エッジサイズを直接入力します。

3.5.5. 装飾-シャドウ

シャドウ装飾について設定する項目です。

装飾												
シャドウ												
使用	タイプ			距離			サイズ			方向		
	行	列	直接設定	行	列	直接設定	行	列	直接設定	行	列	直接設定
<input checked="" type="checkbox"/>			0			10			10			0

3.5.5.1. 使用

シャドウ装飾の設定をする場合にチェックを付けます。
「1」を入力することでチェックを付けることができます。

3.5.5.2. タイプ

シャドウのタイプを、行・列(セルの値)または、直接設定のどちらかで設定します。

- ① 行・列
シャドウタイプを入力するセルの行番号、列番号を入力します。
- ② 直接設定
シャドウタイプを直接入力します。

■シャドウタイプ一覧

タイプ No	シャドウタイプ	サンプル
0	ドロップシャドウ	
1	3D シャドウ	
2	ソフトドロップシャドウ	

3.5.5.3. 距離

シャドウの距離を、行・列(セルの値)または、直接設定のどちらかで設定します。

③ 行・列

シャドウの距離を入力するセルの行番号、列番号を入力します。

④ 直接設定

シャドウの距離を直接入力します。

3.5.5.4. サイズ

シャドウのタイプを「ソフトドロップシャドウ」に指定した場合、ぼかしのサイズを、行・列(セルの値)または、直接設定のどちらかで設定します。

① 行・列

ぼかしのサイズを入力するセルの行番号、列番号を入力します。

② 直接設定

ぼかしのサイズを直接入力します。

3.5.5.5. 方向

シャドウの方向を、行・列(セルの値)または、直接設定のどちらかで設定します。

① 行・列

シャドウの方向を入力するセルの行番号、列番号を入力します。

② 直接設定

シャドウの方向を直接入力します。

■シャドウ方向一覧

方向 No	シャドウの方向
0	右下
1	左下
2	右上
3	左上
4	下
5	上
6	右
7	左

3.5.6. 装飾-ボード

ボード装飾について設定する項目です。

Y	Z	AA	AB	AC	AD	AE
ボード						
使用	サイズ (横)			サイズ (縦)		
	行	列	直接設定	行	列	直接設定

3.5.6.1. 使用

ボード装飾の設定を使用する場合にチェックを付けます。
「1」を入力することでチェックを付けることができます。

3.5.6.2. サイズ(横)

ボードの横サイズを、行・列(セルの値)または、直接設定のどちらかで設定します。

- ① 行・列
ボードの横サイズを入力するセルの行番号、列番号を入力します。
- ② 直接設定
ボードの横サイズを直接入力します。

◆サイズ(横)



3.5.6.3. サイズ(縦)

ボードの縦サイズを、行・列(セルの値)または、直接設定のどちらかで設定します。

- ① 行・列
ボードの縦サイズを入力するセルの行番号、列番号を入力します。
- ② 直接設定
ボードの横サイズを直接入力します。

◆サイズ(縦)



■文字列オブジェクトのボード装飾

文字列オブジェクトのボード装飾は、【文字列装飾】で設定した場合と、【全体装飾】で設定した場合とで装飾の付き方が異なります。

◆文字列のボード装飾(文字列装飾)…文字列オブジェクトの文字ごとにボード装飾が付きます。

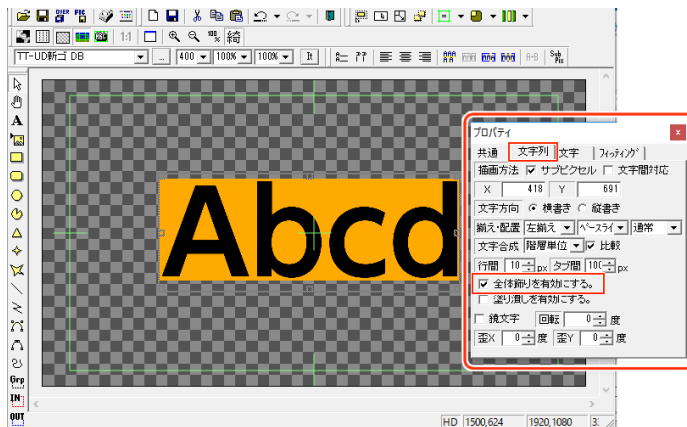


◆文字列のボード装飾(全体装飾)…文字列オブジェクト全体にボード装飾が付きます。



文字列オブジェクト全体にボード装飾を設定したい場合は、【文字列装飾】ではなく、【全体装飾】にボード装飾の設定を登録してください。

また、文字列オブジェクトのプロパティ「全体飾り」が有効になっている必要があります。作画ソフトで文字列オブジェクトのプロパティ【全体飾りを有効にする。】にチェックが付いていることを確認してください。



3.6. 表面色設定シート

【タグ設定】シートの【全体装飾】、【文字列装飾】に入力する表面色設定を登録するシートです。
【表面色 No】ごとに、【表面色】、【グラデーション】、【テクスチャ】のどれか一つを登録してください。

表面色設定一覧		シート名	表面色																				
表面色 No.	名称		使用	セル色				パターン				ポイント1				ポイント2							
			行	列	A	R	G	B	直接設定	セル値	位置	セル色	ARGB指定			位置	セル色	ARGB指定					
1	Color1	<input checked="" type="checkbox"/>			255	32	32	255	<input checked="" type="checkbox"/>	0	0			255	128	0	0	100		255	255	255	255
2	Gradation1	<input type="checkbox"/>																					
3	Texture1	<input type="checkbox"/>																					
4	Color2	<input checked="" type="checkbox"/>			255	255	255	255															
5	Color3	<input checked="" type="checkbox"/>			255	0	128	0															
6	Color4	<input checked="" type="checkbox"/>			255	0	0	128															

3.6.1. 表面色 No

表面色設定に関連付ける 1 からの連番を入力します。
この番号はシート内で重複しないように入力してください。

3.6.2. 名称

表面色設定の名称を入力します。
入力しなくても特に問題はありませぬ。

3.6.3. シート名

表面色設定を入力するセルがあるシートの名称を入力します。

3.6.4. 表面色

表面色について設定する項目です。

表面色に設定する色を、セル色(行・列)または、ARGB 指定のどちらかで設定します。

表面色						
使用	セル色		ARGB指定			
	行	列	A	R	G	B
<input checked="" type="checkbox"/>			255	32	32	255

3.6.4.1. 使用

表面色の設定をする場合にチェックを付けます。

「1」を入力することでチェックを付けることができます。

3.6.4.2. セル色(行・列)

表面色をセルの背景色を使って指定するための項目です。セルの行番号、列番号を入力します。

セルの背景色で色指定した場合、アルファ値は 255 固定(不透明)となります。

3.6.4.3. ARGB 指定(A・R・G・B)

表面色を ARGB 形式で直接入力します。

ARGB は、【A=アルファ値(透明度)／R=赤／G=緑／B=青】になり、それぞれ「0」～「255」までの数値で色を指定します。A は「0」が透明、「255」が不透明になります。

3.6.5. グラデーション

グラデーションについて設定する項目です。

グラデーション																						
使用	パターン			ポイント1				ポイント2				...	ポイント10									
	直接設定	セル値	位置	セル色	ARGB指定			位置	セル色	ARGB指定			位置	セル色	ARGB指定							
	行	列		行	列	A	R	G	B	行	列	A	R	G	B	行	列	A	R	G	B	
<input checked="" type="checkbox"/>	0		0			255	128	0	0	100			255	255	255	255						

3.6.5.1. 使用

グラデーションの設定をする場合にチェックを付けます。

「1」を入力することでチェックを付けることができます。

3.6.5.2. パターン

グラデーションに設定するパターンを、直接設定またはセル値(行・列)のどちらかで設定します。

① 直接設定

グラデーションパターンを直接入力します。

② セル値(行・列)

グラデーションパターンを入力するセルの行番号、列番号を入力します。

■グラデーションパターン一覧

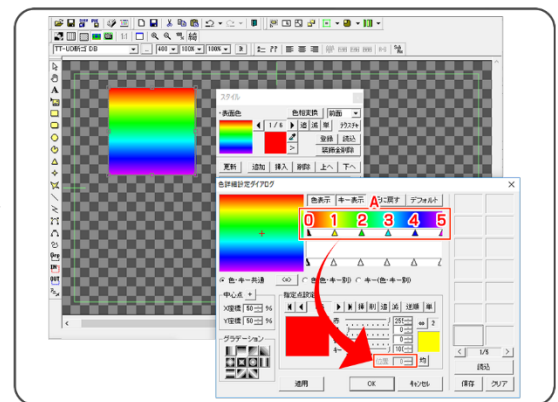
パターン No	グラデーションパターン	サンプル
0	左から右	
1	上から下	
2	左上から右下	
3	左下から右上	
4	中心菱形	
5	中心四角	
6	中心円	
7	右から中	
8	上から中	
9	左上から中	
10	左下から中	

3.6.5.3. ポイント 1～10

グラデーションに設定するポイント(最大 10 個)ごとに位置と色の設定を行います。位置は、開始位置を「0」、終了位置を「100」とした、0～100 の数値で設定します。色の設定は、セル色(行・列)または ARGB 指定(A・R・G・B)のどちらかで設定します。※セル色と ARGB 指定の両方を入力した場合、ARGB 指定が優先されます。

① 位置

ポイントの位置を「0」～「100」の数値で入力します。



② セル色(行・列)

ポイントの色を、セルの背景色で指定する場合、セルの行番号、列番号を入力します。

③ ARGB 指定(A・R・G・B)

ポイントの色を、ARGB で指定する場合、ARGB の値を直接入力します。

3.6.6. テクスチャ

テクスチャについて設定する項目です。テクスチャは以下のファイルを使用できます。

画像ファイル:【TGA/BMP(24bit)/JPG/PICT/PSD/TIFF/GIF/PNG】

動画ファイル:【MOV】

CH	CI	CJ	CK	CL	CM	CN
テクスチャ						
使用	モード		テクスチャ画像			
	直接設定	セル値	セル値	画像ファイル		
	行	列	行	列		
✓	0				C:\NIXUS\Celio\PIC\sample\photo-2.png	

3.6.6.1. 使用

テクスチャの設定をする場合にチェックを付けます。

「1」を入力することでチェックを付けることができます。

3.6.6.2. モード

テクスチャに設定するモードを、直接設定またはセル値(行・列)のどちらかで設定します。



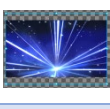
① 直接設定

テクスチャ貼り付けモードを直接入力します。

② セル値(行・列)

テクスチャ貼り付けモードを入力するセルの行番号、列番号を入力します。

■テクスチャ貼り付けモード一覧

モード No	テクスチャ貼り付けモード	サンプル
0	センター	
1	タイル	
2	フィット	
3	3D 横フィット	
4	3D 縦フィット	
5	3D 横上フィット	
6	3D 縦左フィット	
7	3D 横下フィット	
8	3D 縦右フィット	

※モード No「1」～「2」は、画像のみ有効です。

※モード No「3」～「8」は、動画のみ有効です。

3.6.6.3. テクスチャ画像

テクスチャに設定する画像ファイル／動画ファイルを、セル値(行・列)またはファイルパスの直接入力の中から設定します。ファイルパスはフルパスで入力する必要があります。

※使用するファイルは、【環境設定】シートの【PIC パス】配下に保存してください。

① セル値(行・列)

テクスチャ画像ファイルを入力するセルの行番号、列番号を入力します。

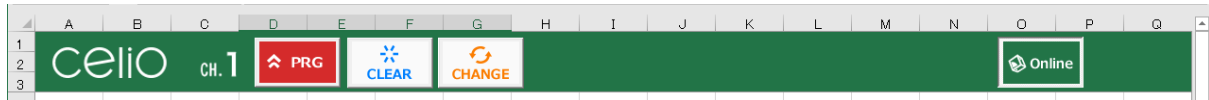
② 画像ファイル

テクスチャで使用する画像ファイル／動画ファイルを直接入力します。

3.7. テンプレートシート(1 系統/2 系統)

コンテンツを作成する際に、テンプレートとなるシートです。このシートが送出制御を行う画面になります。1 系統(Channel1 または Channel2 のどちらかを使用する)コンテンツ用、2 系統(Channel1 と Channel2 の両方を使用する)コンテンツ用の 2 種類が用意されています。

◆1 系統



◆2 系統



3.7.1. Channel 表示番号

Channel 番号が「CH.1」、「CH.2」と表示されています。1 系統コンテンツ用の場合は、【Online】に接続している Channel 番号が表示されます。



3.7.2. PRG/PREV 切替ボタン

送出先を PRG 画面と PREV 画面に切り替えるボタンです。【Online】に接続していない場合は、使用不可状態になります。2 系統コンテンツ用の場合は、Channel1 と Channel2 の 2 つ用意されています。



◆PRG 表示…PRG 表示中は PRG 画面に送出します。



◆PREV 表示…PREV 表示中は PREV 画面に送出します。

3.7.3. CLEAR ボタン

PRG 画面または、PREV 画面をクリアするボタンです。【PRG/PREV】切替ボタンで選択されている画面がクリアされます。【Online】に接続していない場合は、使用不可状態になります。2 系統コンテンツ用の場合は、Channel1 と Channel2 用の 2 つ用意されています。



3.7.4. CHANGE ボタン

PRG 画面と PREV 画面をカットでチェンジするボタンです。【Online】に接続していない場合は、使用不可状態になります。2 系統コンテンツ用の場合は、Channel1 と Channel2 の 2 つ用意されています。



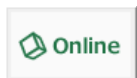
3.7.5. ALL CLEAR ボタン

Channel1 と Channel2 両方の PRG 画面と PREV 画面を全てクリアするボタンです。
【Online】に接続していない場合は、使用不可状態になります。
2 系統コンテンツ用のみに用意されています。



3.7.6. Online 接続ボタン

【Online】の接続または、切断を行うボタンです。
【環境設定】シートで設定した内容に従って、【Online】に接続します。



◆Online 未接続…押下で【Online】に接続します。



◆Online 接続中…押下で【Online】との接続を切ります。

4. チュートリアル-事前準備

作業前にベースファイルについて以下の設定を変更してください。

4.1.1. ブックの保護を解除する

ベースファイルは【ブックの保護】をしています。チュートリアルは【保護解除】を行って進めてください。

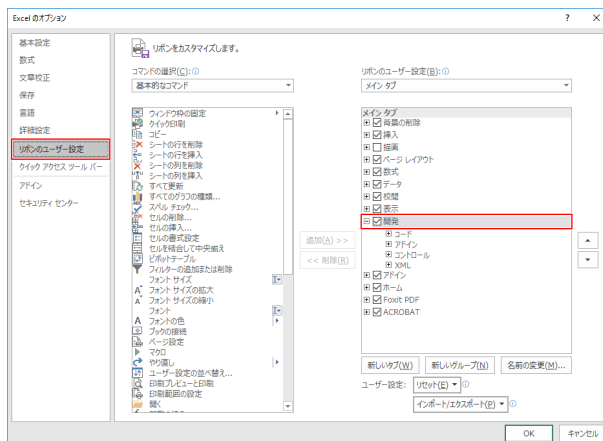


4.1.2. 開発タブを表示する

チュートリアルでは、Excel の【開発】タブの機能を使用します。



【開発】タブが表示されていない場合は、【Excel のオプション】にある【リボンのユーザー設定】から、メインタブの項目にある【開発】にチェックを付けてください。



4.1.3. チュートリアルの完成ファイルについて

チュートリアルで作成するファイルの完成ファイルとして、ベースファイル(celio ベース_sample.xlsx)と、DSO ファイルや画像ファイルをあらかじめ用意しています。

※DSO ファイルは、「C:¥NIXUS¥celio¥DSO¥sample」フォルダ内に保存されています。

※画像ファイルは、「C:¥NIXUS¥celio¥PIC¥sample」フォルダ内に保存されています。

チュートリアルの内容で分からないことがある場合にいつでも参考にできるよう、完成ファイルをバックアップしておくことをお勧めします。

5. チュートリアル-基本

チュートリアルではベースファイル(celio ベース.xmlsm)を使用して基本的な機能を解説します。
ここでは、DSO ファイル(デザインレイアウトファイル)の作成から DSO ファイルの送付、タグを置き換えて再度送付するまでを解説します。

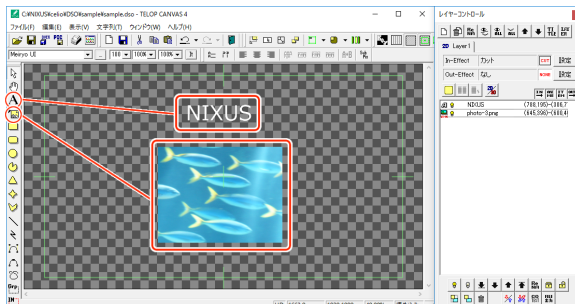
※作画ソフトの詳しい操作方法については「作画ソフトマニュアル」を参照してください。

5.1. DSO ファイルを作成する

作画ソフトを使って DSO ファイルを作成します。

ここでは、文字列オブジェクトと画像オブジェクトを配置します。

画像オブジェクトは、「C:\¥NIXUS¥celio¥PIC¥sample」フォルダ内の画像を使用しています。

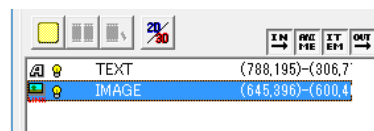
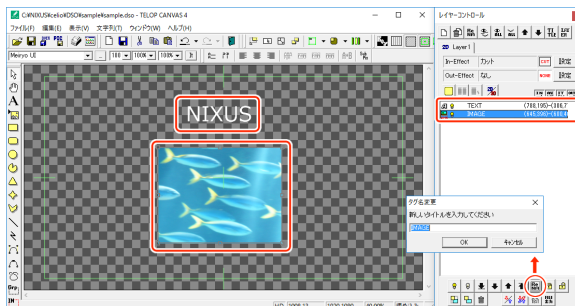


5.1.1. オブジェクトにタグ名を設定する

配置したオブジェクトにタグ名を設定します。

ここでは、文字列オブジェクトに「TEXT」、画像オブジェクトに「IMAGE」というタグ名を設定します。

オブジェクトを選択して、【レイヤーコントロール】ウィンドウの【ReNM】ボタンをクリックして、タグ名を入力してください。



5.1.2. DSO ファイルを保存する

作成した DSO ファイルを保存します。

ここでは、「C:\NIXUS\celio\DSO\sample」フォルダに「sample.dso」という名称で保存します。

【任意保存】ボタンをクリックして、DSO ファイルを保存してください。



以上で作画ソフトでの DSO 作成チュートリアルは終了です。

次に、ベースファイル(celio ベース.xlsx)を使ったチュートリアルを説明します。

5.2. DSO ファイルを登録する

作成した DSO ファイルをベースファイルに登録します。【DSO 一覧】シートを開いてください。

ここでは、【No】に「1」、【名称】にサブフォルダ名を含めた DSO ファイル名「sample¥sample.dso」を入力します。【備考】は入力しなくても問題ありません。

No	名称	備考
1	sample¥sample.dso	サンプルです

5.3. Online に接続する

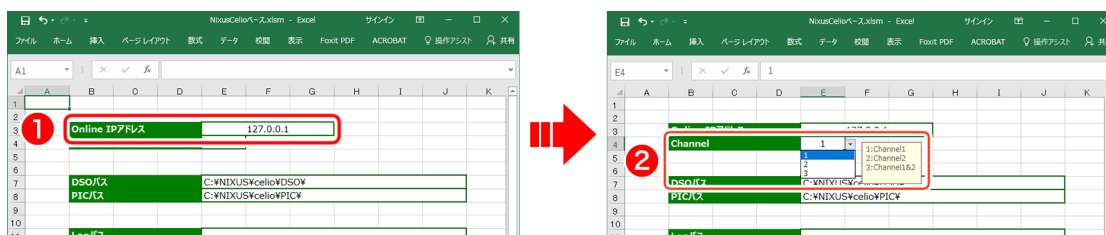
次に、【テンプレート】シートを使用して【Online】に接続してみましょう。

【Online】が起動していない場合は、あらかじめ起動しておきましょう。



5.3.1. 環境設定シートの設定項目を入力する

【環境設定】シートの設定項目を入力します。



① Online IP アドレスを入力する

【Online】が起動している端末の IP アドレスを、“xxx.xxx.xxx.xxx” (xxx は 0~255 の数値)形式の文字列で入力します。自端末で【Online】が起動している場合、“127.0.0.1”と入力のままにしてください。

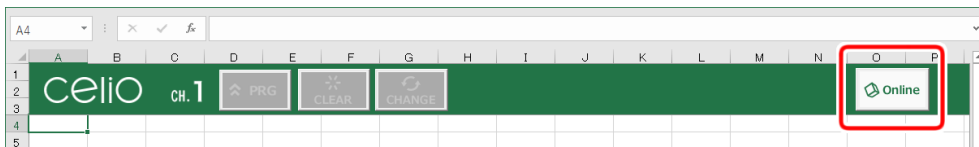
② Channel を入力する

【Online】で使用する Channel を選択してください。ここでは、【1】を選択します。

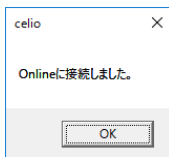
5.3.2. Online 接続ボタンをクリックする

【テンプレート(1 系統)】シートの【Online 接続】ボタンをクリックして、【Online】に接続してみましょう。

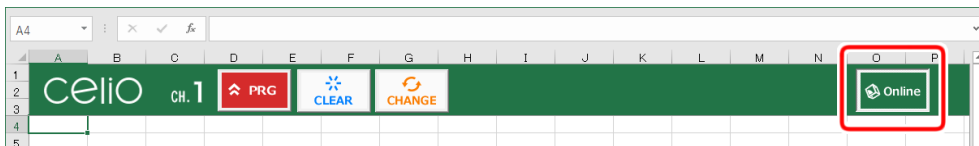
① 【Online 接続】ボタンをクリックしてください。



接続成功のメッセージが表示されます。



【Online 接続】ボタンが緑色に変わり、接続状態になります。Online に接続されると、各ボタンが使用可能状態に変わります。

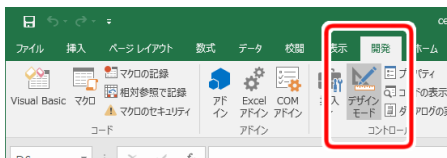


5.4. DSO ファイルを送出する

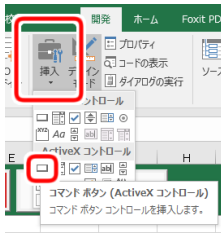
次に、【テンプレート(1 系統)】シートにコマンドボタンを追加して、登録した DSO ファイルを送出してみましょう。

5.4.1. コマンドボタンを配置する

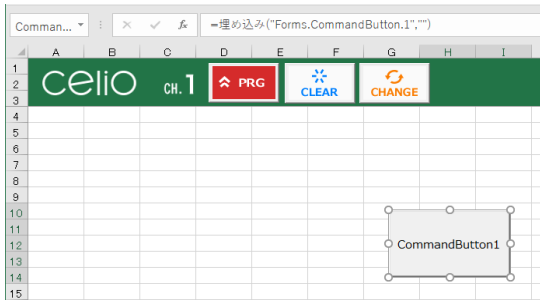
① 【テンプレート(1 系統)】シートを開き、【開発】タブからデザインモードに切り替えてください。



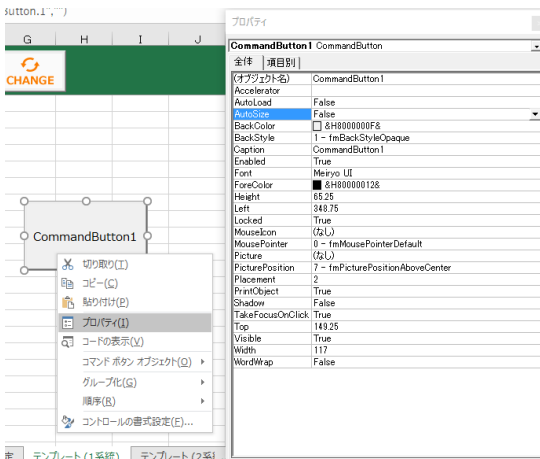
- ② 【挿入】を選択して【ActiveX コントロール】の中から【コマンドボタン】を選択してください。



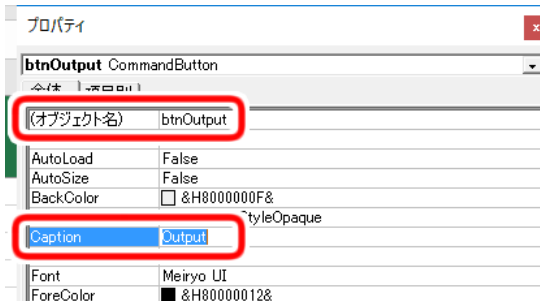
- ③ シート上でドラッグしてコマンドボタンを配置してください。



- ④ 配置したコマンドボタンを右クリックしてプロパティを表示してください。

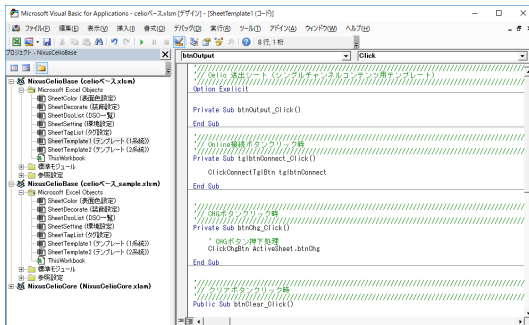


- ⑤ 【オブジェクト名】に「btnOutput」と入力してください。
また、【Caption】には「Output」と入力して、ボタンに表示する文字列を変更します。



5.4.2. コマンドボタンのクリックイベントを記述する

- ① コマンドボタンをダブルクリックしてください。【VBA エディタ】が起動します。



- ② クリック時のイベントプロシージャに、下記の VBA コードを記述してください。

```
Private Sub btnOutput_Click()

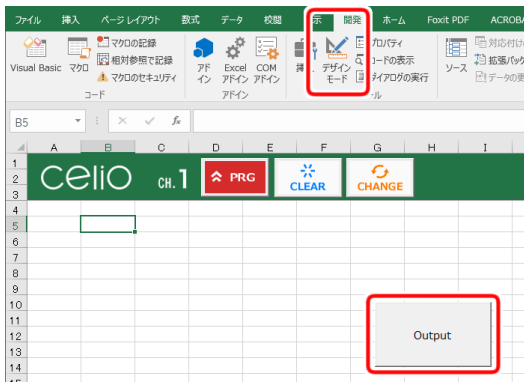
ClickOutBtn 1, GetPrgPrv(), btnOutput

End Sub
```

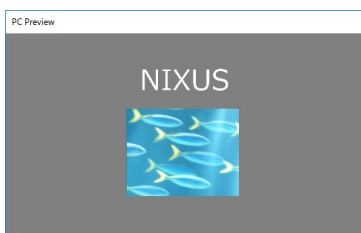
```
Private Sub btnOutput_Click()
ClickOutBtn 1, GetPrgPrv(), btnOutput
End Sub
```

5.4.3. コマンドボタンをクリックして VBA を実行する

- ① デザインモードを解除して、作成したコマンドボタンをクリックしてください。



指定した DSO ファイルが送出されます。

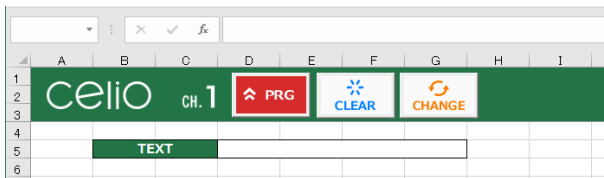


5.5. 文字列を置き換えて送化する

次に、DSO ファイルの文字列を置き換えて送化してみましょう。

5.5.1. 文字列の入力エリアを作成する

- ① 【テンプレート(1 系統)】シートに、置き換える文字列を入力するエリアを作成してください。
ここでは、下図のように 5 行目 D 列(4 番目の列)に作成します。



5.5.2. タグ設定を登録する

- ① 【タグ設定】シートを開き、【DSO No】と置き換える文字列オブジェクトの【タグ名】を登録してください。

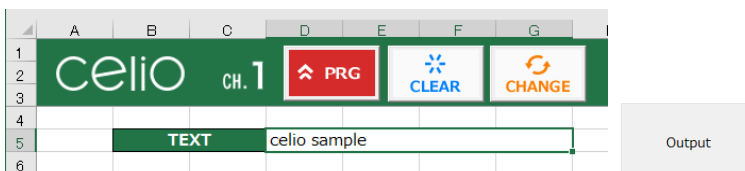
No	名称	タグ名	使用	置換
1	sample#sample.dso	TEXT		

- ② 【置換え文字列】項目の【セルの値で置換え】で、【シート名】とセルの【行】、【列】を入力してください。
ここでは、先程テンプレートシートに作成した文字列入力エリアである、行=「5」、列=「D」を入力します。

セルの値で置換え	セル		繰り返し数
	行	列	
シート名	5	D	

5.5.3. 文字列を入力して送化する

- ① 【テンプレート(1 系統)】シートを開き、作成した文字列入力エリアに送化したい文字列を入力して、コマンドボタンをクリックしてください。



入力した文字列に置き換えられて送出されます。



5.6. 画像を置き換えて送出する

次に、DSO ファイルの画像を置き換えて送出してみましょう。

5.6.1. 画像ファイル名の入力エリアを作成する

- ① 【テンプレート(1 系統)】シートに、置き換える画像ファイル名を入力するエリアを作成してください。ここでは、下図のように 7 行目 D 列(4 番目の列)に作成します。

	A	B	C	D	E	F	G
1	celio CH.1						
2	PRG CLEAR CHANGE						
3							
4							
5	TEXT		celio sample				
6							
7	IMAGE						
8							

5.6.2. タグ設定を登録する

- ① 【タグ設定】シートを開き、【DSO No】と置き換える画像オブジェクトの【タグ名】を登録してください。

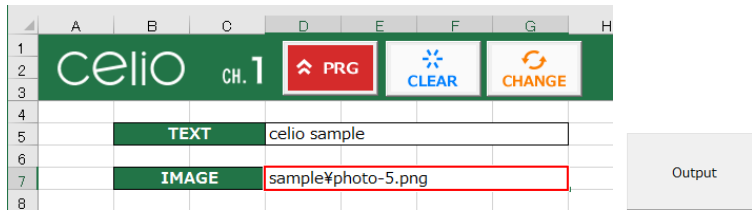
タグ設定一覧			
DSO			タグ名
No.	名称		
1	sample\$sample.dso		TEXT
1	sample\$sample.dso		IMAGE

- ② 【置換え文字列】項目の【セルの値で置換え】で、【シート名】とセルの【行】、【列】を入力してください。ここでは、先程テンプレートシートに作成した画像ファイル名の入力エリアである、行=「7」、列=「D」を入力します。

タグ設定一覧			置換え文字列						
DSO			タグ名	セルの値で置換え					
No.	名称			シート名		セル	繰り返し数	追加文字	
				行	列	行	列	前	
1	sample\$sample.dso		TEXT	テンプレート(1系統)	5	D			
1	sample\$sample.dso		IMAGE	テンプレート(1系統)	7	D			
1	sample\$sample.dso		IN_SLIDE						
2	sample\$sampleChart1.dso		CHART						

5.6.3. 画像ファイル名を入力して送出する

- ① 【テンプレート(1系統)】シートを開き、作成した画像ファイル名の入力エリアに送出したい画像ファイル名(PICパス)を入力して、コマンドボタンをクリックしてください。



入力した画像ファイルに置き換えられて送出されます。



5.7. オブジェクトを非表示にする

次に、オブジェクトを非表示にして送出してみましょう。

ここでは画像オブジェクトを使用しますが、他のオブジェクトでも方法は同じです。

5.7.1. タグ設定を登録する

- ① 【タグ設定】シートを開き、先程登録した IMAGE タグの【表示・非表示】項目に、【シート名】とセルの【行】、【列】を入力してください。

ここでは、先程作成した TEXT タグの置き換え文字列入力エリアを利用して、文字列入力エリアに文字が入力されている場合、画像オブジェクトが非表示になるように設定します。

【セル】の【行】と【列】には、行=「5」、列=「D」と入力してください。

No.		名称	タグ名	シート名	セル 行 列	繰り返し数 行 列	表示条件 入力あり 特定値	非表示条件 入力あり 特定値
1	sample%sample.dso	TEXT						
1	sample%sample.dso	IMAGE	テンプレート(1系統)	5	D			✓
1	sample%sample.dso	IN_SLIDE						

- ② 【非表示条件】の【入力あり】に「1」を入力してチェックを付けてください。

No.		名称	タグ名	シート名	セル 行 列	繰り返し数 行 列	表示条件 入力あり 特定値	非表示条件 入力あり 特定値
1	sample%sample.dso	TEXT						
1	sample%sample.dso	IMAGE	テンプレート(1系統)	5	D			1 ✓
1	sample%sample.dso	IN_SLIDE						

指定のセルに文字列が入力されている場合、画像オブジェクトを非表示にする設定ができました。

5.7.2. 置換え文字列を入力して送出する

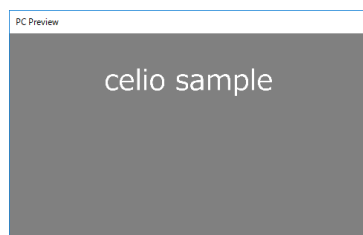
- ① 【テンプレート(1 系統)】シートを開き、テキスト入力エリアに非表示条件の文字列を入力して、コマンドボタンをクリックしてください。

ここでは、【非表示条件】を【入力あり】に設定しているので、適当な文字列を入力します。

【非表示条件】を【特定値】に設定した場合は、特定値に設定した文字列を入力する必要があります。

	A	B	C	D	E	F	G	H	
1	celio CH.1			PRG	CLEAR	CHANGE			
2									
3									
4									
5		TEXT	celio sample						
6									
7		IMAGE	sample%photo-5.png						
8									

画像が非表示に設定されて送出されます。



5.8. オブジェクトのサイズを変更する

次に、オブジェクトのサイズを変更して送出してみましょう。

ここでは画像オブジェクトを使用しますが、他のオブジェクトでも方法は同じです。

5.8.1. タグ設定を登録する

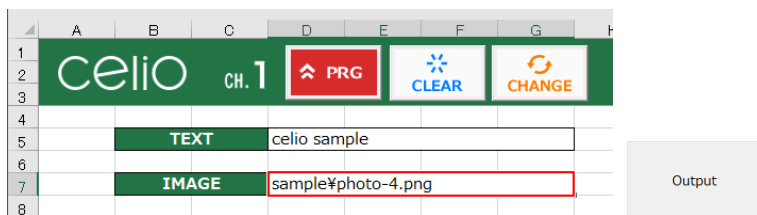
- ① 【タグ設定】シートを開き、先程登録した IMAGE タグの【リサイズ】項目を設定します。【直接設定】の【使用】に「1」を入力してチェックを付け、【X】、【Y】、【W】、【H】を全て入力してください。

ここでは、X=「0」、Y=「0」、W=「1920」、H=「1080」と入力します。

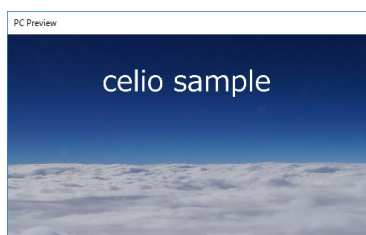
	A	B	C	D	AE	AF	AG	AH	AI	AJ	AK	
1	タグ設定一覧											
2	DSO				タグ名				リサイズ			
3	直接設定											
4	No	名称		タグ名	使用	X	Y	W	H	シート名	行	
6	1	sample%sample.dso		TEXT								
7	1	sample%sample.dso		IMAGE	✔	0	0	1920	1080			
8												

5.8.2. 画像ファイル名を入力して送出する

- ① 【テンプレート(1 系統)】シートを開き、画像ファイル名の入力エリアに送出したい画像ファイル名を入力して、コマンドボタンをクリックしてください。



画像のサイズが W=1920、H=1080 にリサイズされて送出されます。



6.2.1. 表面色設定を登録する

- ① 【表面色設定】シートを開き、表面色の設定を追加してください。
ここでは、【表面色 No】に「1」、【名称】に「Color1」を追加します。

表面色設定一覧				表面色			
表面色 No	名称	シート名	使用	セル色 ARGB指定			
				行	列	A	R
1	Color1						

- ② 【表面色】にある【使用】に「1」を入力してチェックを付け、登録したい色を【表面色】の【ARGB 指定】に入力してください。ここでは、ARGB=「255,32,32,255」と入力します。

表面色設定一覧				表面色					
表面色 No	名称	シート名	使用	セル色 ARGB指定					
				行	列	A	R	G	B
1	Color1		1			255	32	32	255

6.2.2. タグ設定を変更して送出する

- ① 【タグ設定】シートを開き、【文字列装飾】の【表面色】にある【使用】に「1」を入力してチェックを付けてください。
- ② 【表面色 No】の【直接設定】に、先程登録した【表面色 No】の「1」(Color1)を入力してください。

タグ設定一覧				表面色			
No	名称	タグ名	使用	表面色 No			
				行	列	直接設定	
1	sample%sample.dso	TEXT	1			1	
1	sample%sample.dso	IMAGE					

- ③ 【テンプレート(1 系統)】シートを開き、コマンドボタンをクリックしてください。

TEXT		IMAGE		Output
celio sample		sample%photo-5.png		

文字列の色が表面色設定で指定した色に変更されて送出されます。



6.3. 文字列にグラデーション装飾を追加する

次は、表面色設定を使用して文字列オブジェクトにグラデーション装飾を設定してみましょう。

6.3.1. 表面色設定を登録する

- ① 【表面色設定】シートを開き、グラデーションの設定を追加してください。
ここでは、【表面色 No】に「2」、【名称】に「Gradation1」を追加します。

表面色 No	名称
1	Color1
2	Gradation1

- ② 【グラデーション】にある【使用】に「1」を入力してチェックを付け、登録したいグラデーションパターンを【パターン】に入力してください。また、登録したいグラデーションの色を【ポイント1】、【ポイント2】に入力してください。
ここでは、パターンに「0」、ポイント1のARGB指定に「255,128,0,0」、ポイント2のARGB指定に「255,255,255,255」と入力します。

表面色 No	名称	使用	表面色				使用	パターン		ポイント1				ポイント2							
			セル色 行 列	ARGB指定				直接設定 行 列	セル値 位置	セル色			ARGB指定			セル色 行 列	ARGB指定				
				A	R	G				B	位置	行	列	A	R		G	B			
1	Color1	<input checked="" type="checkbox"/>			255	32	32	255													
2	Gradation1	<input checked="" type="checkbox"/>						0		0		255	128	0	0	100		255	255	255	255

グラデーションパターン「0」(左から右)で、ポイント1の色からポイント2の色に変化するグラデーション装飾を登録できました。

6.3.2. 表面色を指定するための入力エリアを追加する

- ① 【テンプレート(1 系統)】シートを開き、表面色 No を入力するエリアを追加してください。
ここでは、下図のように 5 行目 J 列(10 番目の列)に作成します。

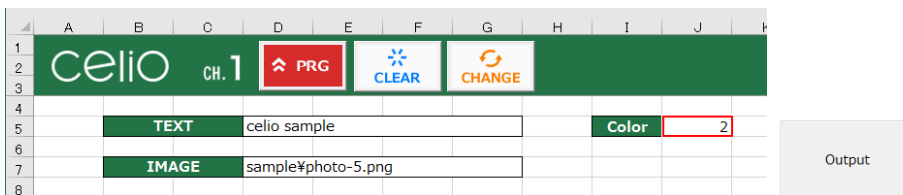
1	celio CH.1 PRG CLEAR CHANGE									
2										
3										
4										
5	TEXT	celio sample								Color
6										
7	IMAGE	sample¥photo-5.png								
8										

6.3.3. タグ設定を変更して送出する

- ① 【タグ設定】シートを開き、【文字列装飾】の【表面色】にある【使用】に「1」を入力してチェックを付けてください。
- ② 【シート名】と【表面色 No】の【行】、【列】を入力してください。
ここでは、先程テンプレートシートに作成した表面色 No を入力するエリア(行=「5」、列=「J」)を入力します。

No.		名称	タグ名	シート名	使用	表面色	
						表面色No.	直接設定
						行	列
1	sample¥sample.dso	TEXT	テンプレート (1系統)	✓	5	J	
1	sample¥sample.dso	IMAGE					
1	sample¥sample.dso	IN_SLIDE					
2	sample¥sampleChart1.dso	CHART					
3	sample¥sampleChart2.dso	NAME					
3	sample¥sampleChart2.dso	BAR1					

- ③ 【テンプレート(1系統)】シートを開き、表面色 No を入力するエリアに「2」(Gradation1)を入力して、コマンドボタンをクリックしてください。



文字列にグラデーションが設定されて送出されます。



6.4. 文字列にテクスチャ装飾を追加する

次は、表面色設定を使用して文字列オブジェクトにテクスチャ装飾を設定してみましょう。

6.4.1. 表面色設定を登録する

- ① 【表面色設定】シートを開き、テクスチャの設定を追加してください。
ここでは、【表面色 No】に「3」、【名称】に「Texture1」を追加します。

表面色 No	名称
1	Color1
2	Gradation1
3	Texture1

- ② 【テキストチャ】にある【使用】に「1」を入力してチェックを付け、登録したいテキストチャ貼り付けモードを【モード】に入力してください。また、テキストチャ画像／動画として参照するファイルのパスをフルパスで【テキストチャ画像】の【画像ファイル】に入力してください。

ここでは、モードに「0」、テキストチャ画像に「C:¥NIXUS¥Celio¥PIC¥sample¥photo-2.png」と入力します。

表面色設定一覧										テキストチャ									
表面色 No	名称	3指定		位置	ポイント10				使用	モード		テキストチャ画像							
		G	B		セル色 行 列	ARGB指定				直接設定	セル値 行 列	セル値 行 列	画像ファイル						
1	Color1																		
2	Gradation1																		
3	Texture1							✓	0				C:¥NIXUS¥celio¥PIC¥sample¥photo-2.png						

テキストチャ貼り付けモード「0」(センター)で、画像ファイル「C:¥NIXUS¥Celio¥PIC¥sample¥photo-2.png」をテキストチャ装飾として登録できました。

6.4.2. 表面色 No を入力して送出する

- ① 【テンプレート(1 系統)】シートを開き、表面色 No を入力するエリアに「3」(Texture1)を入力して、コマンドボタンをクリックしてください。

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
celio CH.1 PRG CLEAR CHANGE									
	TEXT	celio sample			Color	3			
	IMAGE	sample¥photo-5.png							Output

文字列にテキストチャが設定されて送出されます。



6.5. 文字列にエッジ装飾を追加する

次は、装飾設定を使用して文字列オブジェクトにエッジ装飾を設定してみましょう。

6.5.1. 装飾設定を登録する

- ① **【装飾設定】**シートを開き、エッジの設定を追加してください。
ここでは、**【装飾 No】**に「1」、**【名称】**に「Edge1」を追加します。

A	B	C
1	装飾設定一覧	
2		
3	装飾 No	名称
4		
5		
6	1	Edge1
7		

- ② **【装飾】**の**【エッジ】**にある**【使用】**に「1」を入力してチェックを付け、登録したいエッジのエッジタイプとサイズを、**【タイプ】**、**【サイズ】**に入力してください。
ここでは、タイプに「0」、サイズに「10」と入力します。

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R
1	装飾設定一覧																
2																	
3	装飾 No	名称	シート名	エッジ				タイプ				サイズ				装飾シャドウ	
4				使用	行	列	直接設定	行	列	直接設定	使用	行	列	直接設定	行	列	直接設定
5																	
6	1	Edge1		✓				0									
7																	

エッジタイプ「0」(通常)で、サイズ「10」のエッジ装飾を登録できました。

6.5.2. 表面色設定を登録する

- ① **【表面色設定】**シートを開き、エッジに使用する色設定を追加してください。
ここでは、**【表面色 No】**に「4」、**【名称】**に「Color2」を追加します。

A	B	C
1	表面色設定一覧	
2		
3	表面色 No	名称
4		
5		
6	1	Color1
7	2	Gradation1
8	3	Texture1
9	4	Color2
10		

- ② **【表面色】**にある**【使用】**に「1」を入力してチェックを付け、登録したい色を**【表面色】**の**【ARGB 指定】**に入力してください。ここでは、ARGB=「255,255,255,255」と入力します。

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1	表面色設定一覧									
2										
3	表面色 No	名称	シート名	表面色						
4				使用	セル色		ARGB指定			
5					行	列	A	R	G	B
6	1	Color1		✓			255	32	32	255
7	2	Gradation1								
8	3	Texture1								
9	4	Color2		✓			255	255	255	255
10										

6.5.3. タグ設定を変更して送化する

- ① 【タグ設定】シートを開き、【文字列装飾】の【装飾 1】にある【使用】に「1」を入力してチェックを付けてください。
- ② 【装飾 No】の【直接設定】に、先程登録した【装飾 No】の「1」(Edge1)を入力してください。
また、【表面色 No】の【直接設定】に、先程登録した【表面色 No】の「4」(Color2)を入力してください。

タグ設定一覧												
No.	名称	タグ名	シート名	使用	表面色No.			装飾 全削除	装飾1			
					行	列	直接設定		使用	装飾No.	表面色No.	
1	sample\$sample.dso	TEXT	テンプレート (1系統)	✓	5	J		✓	1	4		
1	sample\$sample.dso	IMAGE										
1	sample\$sample.dso	IN_SLIDE										
2	sample\$sampleChart1.dso	CHART										
2	sample\$sampleChart2.dso	NAME										

- ③ 【テンプレート(1系統)】シートを開き、コマンドボタンをクリックしてください。

celio CH.1												
				PRG		CLEAR		CHANGE				
	TEXT	celio sample						Color	3			
	IMAGE	sample\$photo-5.png										
											Output	

文字列にエッジが設定されて送われます。



6.6. 文字列にシャドウ装飾を追加する

次は、装飾設定を使用して文字列オブジェクトにシャドウ装飾を設定してみましょう。

6.6.1. 装飾設定を登録する

- ① 【装飾設定】シートを開き、シャドウの設定を追加してください。
ここでは、【装飾 No】に「2」、【名称】に「Shadow1」を追加します。

装飾設定一覧		
装飾 No	名称	
1	Edge1	
2	Shadow1	

- ② 【装飾】の【シャドウ】にある【使用】に「1」を入力してチェックを付け、登録したいシャドウのシャドウタイプ/距離/サイズ/方向を、【タイプ】、【距離】、【サイズ】、【方向】に入力してください。ここでは、タイプに「0」、距離に「10」、サイズに「0」、方向に「0」と入力します。

装飾設定一覧			装飾															
装飾 No	名称	使用	タイプ				距離				サイズ				方向			
			行	列	直接設定	行	列	直接設定	行	列	直接設定	行	列	直接設定				
			1	Edge1														
2	Shadow1	1			0			10			0			0			0	

シャドウタイプ「0」(ドロップシャドウ)、距離「10」、サイズ「0」、方向「0」(右下)のシャドウ装飾を登録できました。

6.6.2. 表面色設定を登録する

- ① 【表面色設定】シートを開き、シャドウに使用する色設定を追加してください。ここでは、【表面色 No】に「5」、【名称】に「Color3」を追加します。

表面色設定一覧		
表面色 No	名称	
1	Color1	
2	Gradation1	
3	Texture1	
4	Color2	
5	Color3	

- ② 【表面色】にある【使用】に「1」を入力してチェックを付け、登録したい色を【表面色】の【ARGB 指定】に入力してください。ここでは、ARGB=「255,0,128,0」と入力します。

表面色設定一覧			表面色							
表面色 No	名称	シート名	使用	セル色		ARGB指定				
				行	列	A	R	G	B	
				1	Color1		1		255	32
2	Gradation1									
3	Texture1									
4	Color2		1		255	255	255	255		
5	Color3		1		255	0	128	0		

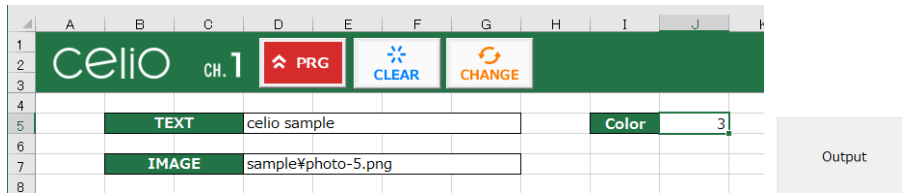
6.6.3. タグ設定を変更して送付する

- ① 【タグ設定】シートを開き、【文字列装飾】の【装飾 1】にある【使用】に「1」を入力してチェックを付けてください。

- ② 【装飾 No】の【直接設定】に、先程登録した【装飾 No】の「2」(Shadow1)を入力してください。
また、【表面色 No】の【直接設定】に、先程登録した【表面色 No】の「5」(Color3)を入力してください。

タグ設定一覧																					
No.	名称	タグ名	シート名	表面色			装飾 全削除	装飾1													
				使用	行	列		直接設定	使用	行	列	直接設定	使用								
1	sample¥sample.dso	TEXT	テンプレート (1系統)	✓	5	J		✓		2											
1	sample¥sample.dso	IMAGE																			
1	sample¥sample.dso	IN_SLIDE																			
2	sample¥sampleChart1.dso	CHART																			

- ③ 【テンプレート(1系統)】シートを開き、コマンドボタンをクリックしてください。



文字列にシャドウが設定されて送出されます。



6.7. 文字列にボード装飾を追加する

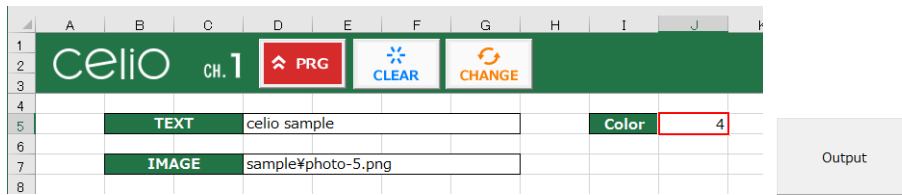
次は、装飾設定を使用して文字列オブジェクトにボード装飾を設定してみましょう。

6.7.1. 装飾設定を登録する

- ① 【装飾設定】シートを開き、ボードの設定を追加してください。
ここでは、【装飾 No】に「3」、【名称】に「Board1」を追加します。

装飾設定一覧	
装飾 No	名称
1	Edge1
2	Shadow1
3	Board1

- ③ 【テンプレート(1 系統)】シートを開き、コマンドボタンをクリックしてください。
ここでは、表面色 No を入力するエリアに「4」(Color2)を入力して文字列の表面色を変更しています。



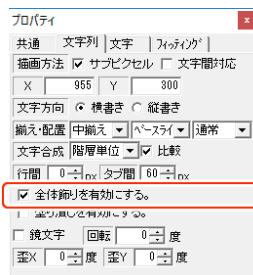
文字列にボードが設定されて送出されます。



文字列全体にボード装飾を追加したい場合は、【タグ設定】シートの【文字列装飾】ではなく、【全体装飾】にボード装飾を設定してください。【全体装飾】を使って文字列全体にボード装飾を設定した場合、下図のように送出されます。



※文字列オブジェクトのプロパティ「全体飾り」が有効になっている必要があります。
文字列全体にボード装飾が設定されない場合は、作画ソフトで文字列オブジェクトのプロパティの【全体飾りを有効にする。】にチェックが付いていることを確認してください。



6.8. オブジェクトにエッジ装飾を追加する

次は、装飾設定を使用してオブジェクトにエッジ装飾を設定してみましょう。
ここでは画像オブジェクトを使用しますが、他のオブジェクトでも方法は同じです。

6.8.1. 装飾設定を登録する

- ① 【装飾設定】シートを開き、エッジの設定を追加してください。
ここでは、【装飾 No】に「4」、【名称】に「Edge2」を追加します。

装飾 No	名称
1	Edge1
2	Shadow1
3	Board1
4	Edge2

- ② 【装飾】の【エッジ】にある【使用】に「1」を入力してチェックを付け、登録したいエッジのエッジタイプとサイズを、【タイプ】、【サイズ】に入力してください。
ここでは、タイプに「1」、サイズに「15」と入力します。

装飾 No	名称	シート名	エッジ							
			使用	タイプ			サイズ			
				行	列	直接設定	行	列	直接設定	
1	Edge1		✓			0				10
4	Edge2		✓			1				15

エッジタイプ「1」(ソフトエッジ)で、サイズ「15」のエッジ装飾を登録できました。

6.8.2. タグ設定を変更して送出する

- ① 【タグ設定】シートを開き、「IMAGE」タグの【全体装飾】の【装飾 1】にある【使用】にチェックを付けてください。
- ② 【装飾 No】の【直接設定】に、先程登録した【装飾 No】の「4」(Edge2)を入力してください。
また、【表面色 No】の【直接設定】に、先程登録した【表面色 No】の「4」(Color2)を入力してください。

No	名称	タグ名	使用	装飾1						
				装飾No			表面色No			
				行	列	直接設定	行	列	直接設定	
1	sample/sample.dso	TEXT								
1	sample/sample.dso	IMAGE	✓			4				4

- ③ 【テンプレート(1 系統)】シートを開き、コマンドボタンをクリックしてください。

ceio CH. 1		PRG	CLEAR	CHANGE
TEXT	celio sample	Color	3	
IMAGE	sample/photo-5.png			Output

オブジェクトにエッジが設定されて送出されます。



6.9. オブジェクトにシャドウ装飾を追加する

次は、装飾設定を使用してオブジェクトにシャドウ装飾を設定してみましょう。
ここでは画像オブジェクトを使用しますが、他のオブジェクトでも方法は同じです。

6.9.1. 装飾設定を登録する

- ① 【装飾設定】シートを開き、シャドウの設定を追加してください。
ここでは、【装飾 No】に「5」、【名称】に「Shadow2」を追加します。

A	B	C
1	装飾設定一覧	
2		
3	装飾 No	名称
4		
5		
6	1	Edge1
7	2	Shadow1
8	3	Board1
9	4	Edge2
10	5	Shadow2
11		

- ② 【装飾】の【シャドウ】にある【使用】に「1」を入力してチェックを付け、登録したいシャドウのシャドウタイプ/距離/サイズ/方向を、【タイプ】、【距離】、【サイズ】、【方向】に入力してください。
ここでは、タイプに「0」、距離に「20」、サイズに「0」、方向に「0」と入力します。

A	B	C	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X
1	装飾設定一覧		装飾												
2			シャドウ												
3	装飾 No	名称	使用	タイプ			距離			サイズ			方向		
4				行	列	直接設定	行	列	直接設定	行	列	直接設定	行	列	直接設定
5															
6	1	Edge1													
7	2	Shadow1	✓			0			10			10			0
8	3	Board1													
9	4	Edge2													
10	5	Shadow2	✓			0			20			0			0
11															

シャドウタイプ「0」(ドロップシャドウ)、距離「10」、サイズ「0」、方向「0」(右下)のシャドウ装飾を登録できました。

6.9.2. タグ設定を変更して送出する

- ① 【タグ設定】シートを開き、「IMAGE」タグの【全体装飾】の【装飾 1】にある【使用】にチェックを付けてください。
- ② 【装飾 No】の【直接設定】に、先程登録した【装飾 No】の「5」(Shadow2)を入力してください。
また、【表面色 No】の【直接設定】に、先程登録した【表面色 No】の「5」(Color3)を入力してください。

タグ設定一覧				AY	AZ	BA	BB	BC	BD	BE
DSO			タグ名	装飾1						
No	名称			使用	装飾No		表面色No			
	行	列	直接設定	行	列	直接設定	行	列	直接設定	
1	sample	sample.dso	TEXT							
1	sample	sample.dso	IMAGE	<input checked="" type="checkbox"/>		5			5	

- ③ 【テンプレート(1 系統)】シートを開き、コマンドボタンをクリックしてください。

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
ceio CH.1 PRG CLEAR CHANGE									
	TEXT	celio sample			Color	3			
	IMAGE	sample/photo-5.png							Output

オブジェクトにシャドウが設定されて送出されます。



6.10. オブジェクトにボード装飾を追加する

次は、装飾設定を使用してオブジェクトにボード装飾を設定してみましょう。
ここでは画像オブジェクトを使用しますが、他のオブジェクトでも方法は同じです。

6.10.1. 装飾設定を登録する

- ① 【装飾設定】シートを開き、ボードの設定を追加してください。
ここでは、【装飾 No】に「6」、【名称】に「Board2」を追加します。

装飾設定一覧		
装飾 No	名称	
1	Edge1	
2	Shadow1	
3	Board1	
4	Edge2	
5	Shadow2	
6	Board2	

- ② 【装飾】の【ボード】にある【使用】に「1」を入力してチェックを付け、登録したいボードのサイズを、【サイズ(横)】、【サイズ(縦)】に入力してください。

ここでは、サイズ(横)に「15」、サイズ(縦)に「15」と入力します。

装飾設定一覧		装飾						ボード						
装飾 No	名称	Shadow		Size		Direction		使用	Size (Horizontal)			Size (Vertical)		
		Direct	Row	Direct	Col	Direct	Row		Direct	Row	Direct	Row	Direct	
1	Edge1													
2	Shadow1			10		10		0						
3	Board1							<input checked="" type="checkbox"/>				20		20
4	Edge2													
5	Shadow2			20		20		0						
6	Board2							<input checked="" type="checkbox"/>				15		15

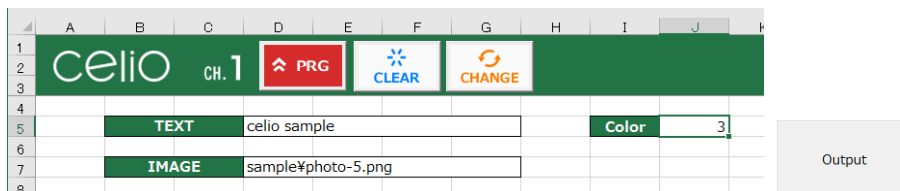
サイズ(横)「15」、サイズ(縦)「15」のボード装飾が登録できました。

6.10.2. タグ設定を変更して送出する

- ① 【タグ設定】シートを開き、「IMAGE」タグの【全体装飾】の【装飾 1】にある【使用】にチェックを付けてください。
- ② 【装飾 No】の【直接設定】に、先程登録した【装飾 No】の「6」(Board2)を入力してください。
また、【表面色 No】の【直接設定】に、先程登録した【表面色 No】の「6」(Color4)を入力してください。

タグ設定一覧				タグ名		装飾1						
No	名称	DSO	タグ名	使用	装飾No			表面色No				
					Direct	Row	Col	Direct	Row	Col		
1	sample%sample.dso		TEXT									
1	sample%sample.dso		IMAGE	<input checked="" type="checkbox"/>			6					6

- ③ 【テンプレート(1 系統)】シートを開き、コマンドボタンをクリックしてください。



オブジェクトにボードが設定されて送出されます。



6.11. 文字列に複数の装飾を追加する

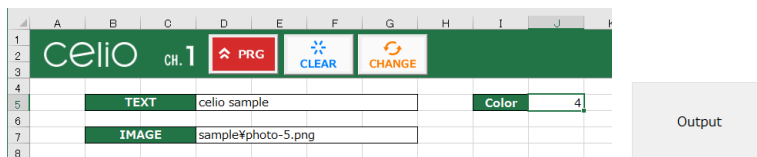
次は、装飾設定を使用して文字列オブジェクトに複数の装飾を設定してみましょう。
ここでは、エッジ装飾を 2 つ設定してみます。

6.11.1. タグ設定を変更して送出する

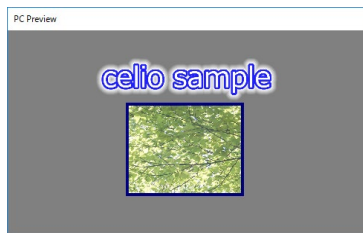
- ① 【タグ設定】シートを開き、【文字列装飾】に複数の装飾を設定してください。
ここでは、先程【装飾設定】シートに登録したエッジの設定を、それぞれ【装飾 1】と【装飾 2】に設定します。
- 【装飾 1】にある【使用】に「1」を入力してチェックを付け、【装飾 No】の【直接設定】に「1」(Edge1)を、【表面色 No】の【直接設定】に「1」(Color1)を入力してください。
- また、【装飾 2】にある【使用】に「1」を入力してチェックを付け、【装飾 No】の【直接設定】に「4」(Edge2)を、【表面色 No】の【直接設定】に「4」(Color2)を入力してください。

タグ設定一覧		タグ名	装飾1						装飾2					
No	名称		使用	装飾No		表面色No		使用	装飾No		表面色No			
				行	列	直接設定	行		列	直接設定	行	列	直接設定	
1	sample%sample.dso	TEXT	✓		1		1	✓		4		4		
1	sample%sample.dso	IMAGE												

- ② 【テンプレート(1 系統)】シートを開き、コマンドボタンをクリックしてください。



文字列に複数の装飾(ここではエッジが2つ)が設定されて送出されます。



7. チュートリアル-スライド

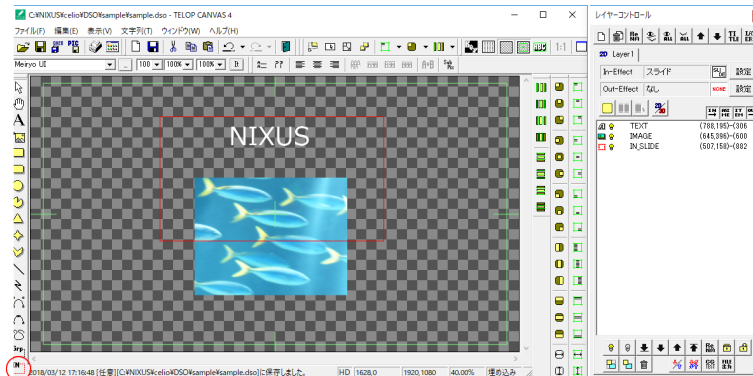
ここでは、celio で使用する DSO ファイルのスライド設定について解説します。
作画ソフト上で指定したエリアにエフェクトを設定することができます。

7.1. スライドを使用する

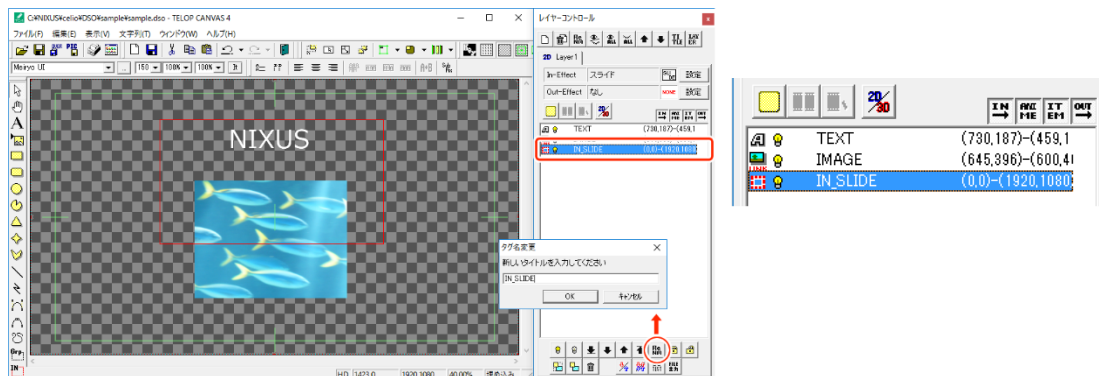
「チュートリアル-基本」で使用した DSO ファイル(sample.dso)を使用して、スライド設定を使用した IN スライドを設定してみましょう。

7.1.1. DSO ファイルに IN スライドオブジェクトを追加する

- ① 作画ソフトを使って DSO ファイルに IN スライドオブジェクトを追加してください。ここでは下図のように、文字列オブジェクトと画像オブジェクトの上半分を囲うように IN スライドオブジェクトを追加します。



- ② 追加した IN スライドオブジェクトにタグ名を設定してください。
ここでは、「IN_SLIDE」というタグ名を設定します。



- ③ DSO ファイルを上書き保存してください。
以上で作画ソフトでの DSO ファイルに IN スライドオブジェクトを追加するチュートリアルは終了です。次に、ベースファイル(celio ベース.xmlsm)を使ったチュートリアルを説明します。

7.1.2. スライド設定を登録して送出する

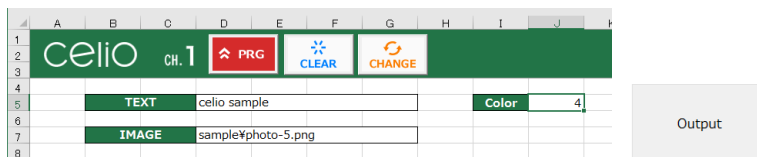
- ① 【タグ設定】シートを開き、スライド設定を登録してください。

ここでは、【モード】に「3」、【方向】に「0」、【スピードモード】に「0」、【速度】に「15」、【開始ディレイ】に「0」を設定します。

※モード(3)=プッシュイン/方向(0)=右/スピードモード(0)=総フレーム数

タグ設定一覧			スライド														
No	名称	タグ名	モード			方向			スピードモード			速度			開始ディレイ		
			行	列	直接設定	行	列	直接設定	行	列	直接設定	行	列	直接設定	行	列	直接設定
1	sample/sample.dso	TEXT															
1	sample/sample.dso	IMAGE															
1	sample/sample.dso	IN_SLIDE			3			0			0			15			0

- ② 【テンプレート(1系統)】シートを開き、コマンドボタンをクリックしてください。



設定したエリアにスライドが実行されて送出されます。



7.2. スライドを無効にする

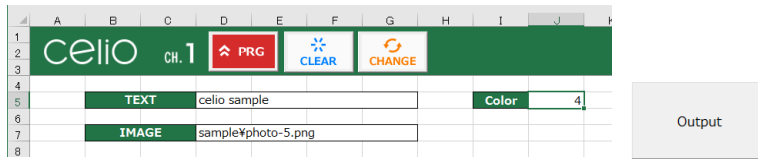
既にスライド設定が行われている DSO ファイルのスライドを無効にしてみましょう。
スライドを無効にするには、スライドオブジェクトを非表示に設定します。

7.2.1. タグ設定でスライドを非表示にして送出する

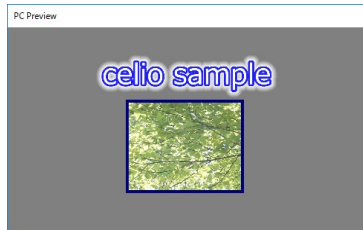
- ① 【タグ設定】シートを開き、【直接設定】にある【使用】に「1」を入力してチェックを付け、【表示・非表示】に「0」を入力してスライドオブジェクトを非表示に設定してください。

タグ設定一覧			直接設定			表示・非表示	
No	名称	タグ名	使用	表示・非表示	繰り返し数	シート名	セル
							行
1	sample/sample.dso	TEXT					
1	sample/sample.dso	IMAGE				テンプレート (1系統)	5 D
1	sample/sample.dso	IN_SLIDE	1	0			
2	sample/sampleChart1.dso	CHART1					
3	sample/sampleChart2.dso	NAME					

② 【テンプレート(1 系統)】シートを開き、コマンドボタンをクリックしてください。



スライドが実行されずに送付されます。



8. チュートリアル-グラフ送付

ここでは、celio でグラフを送付する方法について解説します。

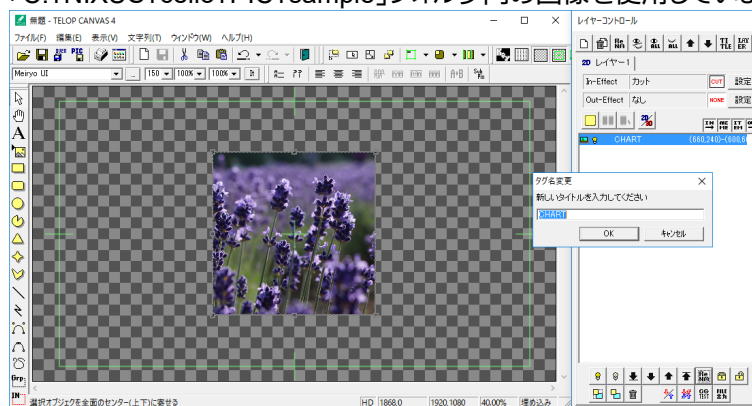
8.1. グラフを表示する-画像置き換えを使用

シートに作成したグラフを画像として出力し、画像置き換え機能を使用して送付してみましょう。
ここでは、単純な棒グラフを作成して送付します。

8.1.1. DSO ファイルを作成する

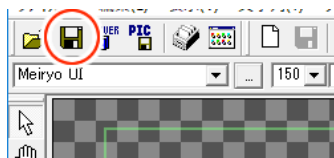
- ① 作画ソフトを使って DSO ファイルを作成します。

ここでは、画像オブジェクトを配置して「CHART」というタグ名を設定します。画像オブジェクトは「C:\¥NIXUS¥celio¥PIC¥sample」フォルダ内の画像を使用しています。



- ② DSO ファイルを保存します。

ここでは、「C:\¥NIXUS¥celio¥DSO¥sample」フォルダに「sampleChart1.dso」という名称で保存します。【任意保存】ボタンをクリックして、DSO ファイルを保存してください。



以上で作画ソフトでの DSO ファイルを作成するチュートリアルは終了です。
次に、ベースファイル(celio ベース.xlsm)を使ったチュートリアルを説明します。

8.1.2. DSO 一覧シートに登録する

- ① 作成した DSO ファイルをベースファイルに登録します。【DSO 一覧】シートを開いてください。

ここでは、【No】に「2」、【名称】にサブフォルダ名を含めた DSO ファイル名「sample¥sampleChart1.dso」を入力します。

	A	B	C	D
1		DSO一覧		
2		No	名称	備考
3		1	sample¥sample.dso	
4		2	sample¥sampleChart1.dso	グラフを表示するサンプル
5				

8.1.3. シートにグラフを作成する

- ① 【テンプレート(1 系統)】シートにグラフを作成します。

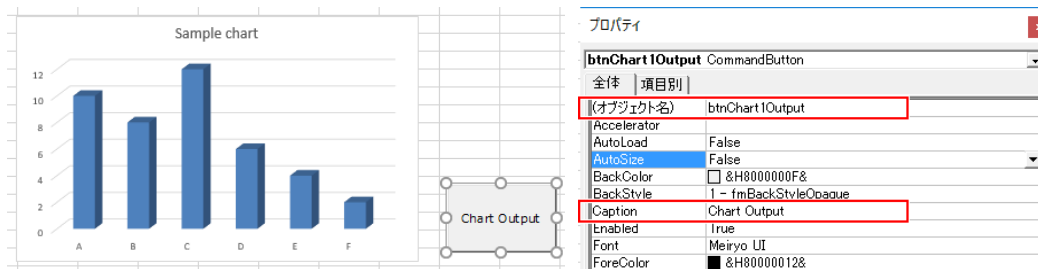
ここでは、下図のような単純な棒グラフを作成します。グラフの背景は白で塗りつぶしています。



8.1.4. グラフを画像出力するコマンドボタンを追加する

- ① 【テンプレート(1 系統)】シートにグラフを画像出力するコマンドボタンを作成します。

ここでは、ボタンの【オブジェクト名】を「btnChart1Output」、【Caption】を「Chart Output」に設定します。



- ② 追加したコマンドボタンのクリックイベントプロシージャに、下記の VBA コードを記述します。

```
Private Sub btnChart1Output_Click()

    ChartObjects(1).Chart.Export "C:\NIXUS\Celio\PIC\sample\Chart1.bmp", "BMP", False

End Sub
```

```

'////////////////////////////////////
'// グラフ出力ボタンクリック時 (サンプル)
'////////////////////////////////////
Private Sub btnChartOutput_Click()
    ChartObjects(1).Chart.Export "C:\NIXUS\Celio\PIC\sample\Chart1.bmp", "BMP", False
End Sub

```

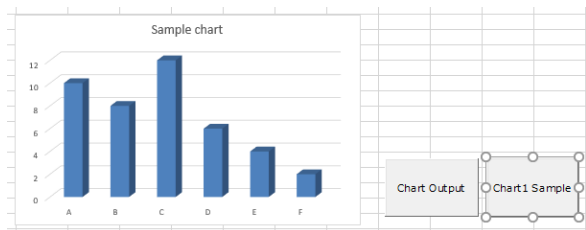
8.1.5. タグ設定を登録する

- ① 【タグ設定】シートを開き、「CHART」タグの設定を追加します。
【置換え文字列】の【直接設定】に、グラフを画像出力する際のファイル名を入力してください。

タグ設定一覧					
DSO			タグ名	直接置換え	
No	名称			使用	置換え文字列
1	sample#sample.dso	TEXT			
1	sample#sample.dso	IMAGE			
1	sample#sample.dso	IN_SLIDE			
2	sample#sampleChart1.dso	CHART	<input checked="" type="checkbox"/>		sample#Chart1.bmp

8.1.6. 送出手のボタンを追加する

- ① 【テンプレート(1 系統)】シートを開き、送出手のボタンを追加します。
ここでは、ボタンの【オブジェクト名】を「btnOutputChartSample」、【Caption】を「Chart1 Sample」に設定します。



プロパティ

btnOutputChartSample CommandButton

全体	項目別
[(オブジェクト名)]	btnOutputChartSample
Accelerator	
AutoLoad	False
AutoSize	False
BackColor	&H8000000F&
BackStyle	1 - fmBackStyleOpaque
[(Caption)]	Chart1 Sample
Enabled	True
Font	Meiryo UI
ForeColor	&H80000012&

- ② 追加したコマンドボタンのクリックイベントプロシージャに、下記の VBA コードを記述します。

```

Private Sub btnOutputChartSample_Click()

    ClickOutBtn 2, GetPrgPrv(), btnOutput

End Sub

'////////////////////////////////////
'// グラフ送出手ボタンクリック時 (サンプル)
'////////////////////////////////////
Private Sub btnOutputChartSample_Click()

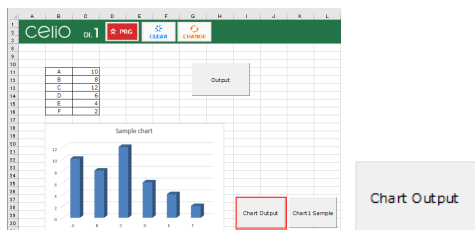
    ClickOutBtn 2, GetPrgPrv(), btnOutput

End Sub

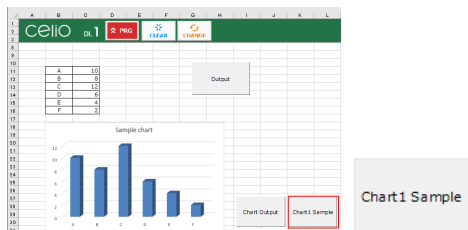
```

8.1.7. グラフを出力して送る

- ① 【テンプレート(1 系統)】シートを開き、先程追加したグラフ画像出力のコマンドボタンをクリックして、グラフを画像出力してください。



- ② 送るコマンドボタンをクリックしてください。



出力したグラフの画像に置き換えられて送られます。



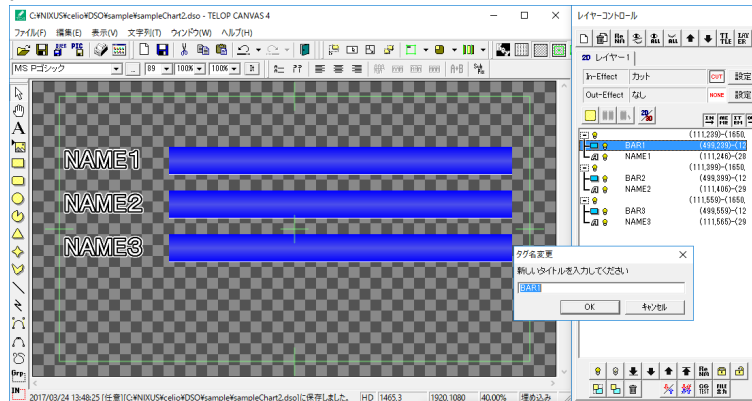
8.2. グラフを表示する-オブジェクトのリサイズを使用

オブジェクトのリサイズ機能を使用して、DSO ファイルに配置したオブジェクトでグラフを作成して送出してみましよう。ここでは、個人別の点数(最大 100)の棒グラフを作成して送出します。

8.2.1. DSO ファイルを作成する

- ① 作画ソフトを使って DSO ファイルを作成します。

ここでは、文字列オブジェクトと四角形オブジェクトを配置します。文字列オブジェクトはそれぞれ「NAME1~3」というタグ名を設定します。四角形オブジェクトはそれぞれ「BAR1~3」というタグ名を設定します。

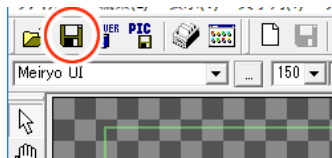


四角形オブジェクトは以下の通りに配置しています。

タグ名	X 座標	Y 座標	幅	高さ
BAR1	500	240	1260	100
BAR2	500	400	1260	100
BAR3	500	560	1260	100

- ② DSO ファイルを保存します。

ここでは、「C:¥NIXUS¥celio¥DSO¥sample」フォルダに「sampleChart2.dso」という名称で保存します。【任意保存】ボタンをクリックして、DSO ファイルを保存してください。



以上で作画ソフトでの DSO ファイルを作成するチュートリアルは終了です。次に、ベースファイル(celio ベース.xlsm)を使ったチュートリアルを説明します。

8.2.2. DSO 一覧シートに登録する

- ① 作成した DSO ファイルをベースファイルに登録します。【DSO 一覧】シートを開いてください。ここでは、【No】に「3」、【名称】にサブフォルダ名を含めた DSO ファイル名「sample¥sampleChart2.dso」を入力します。

DSO一覧			
No	名称	備考	
1	sample¥sample.dso		
2	sample¥sampleChart1.dso	グラフを表示するサンプル1	
3	sample¥sampleChart2.dso	グラフを表示するサンプル2	

8.2.3. シートに入力項目を作成する

- ① 【テンプレート(1 系統)】シートを開き、下図のように「名前(NAME)」、「グラフの座標(X,Y)」、「グラフのサイズ(W,H)」、「得点(POINT)」を入力するエリアを作成します。

No	Name	X	Y	W	H	POINT
1						
2						
3						

8.2.4. タグ設定を登録する

- ① 【タグ設定】シートを開き、「NAME1~3」タグの文字列置き換えを設定します。「NAME1~3」タグのような連続したセルを設定する場合は、【繰り返し数】を使った設定方法が便利です。ここでは、テンプレートシートの入力エリアが行方向に 3 つ連続しているため、【繰り返し数】の【行】に「3」と入力してください。

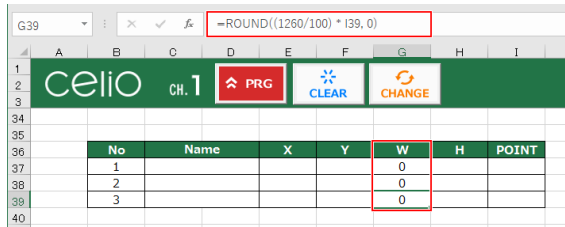
No.	名称	タグ名	シート名	置換え文字列			
				セルの値で置換え			
				セル	繰り返し数		
行	列	行	列	行	列		
1	sample¥sample.dso	TEXT	テンプレート(1系統)	5	D		
1	sample¥sample.dso	IMAGE	テンプレート(1系統)	7	D		
1	sample¥sample.dso	IN_SLIDE					
2	sample¥sampleChart1.dso	CHART					
3	sample¥sampleChart2.dso	NAME	テンプレート(1系統)	37	C	3	
3	sample¥sampleChart2.dso	BAR1	テンプレート(1系統)				
3	sample¥sampleChart2.dso	BAR2	テンプレート(1系統)				

- ② 「BAR1~3」タグのリサイズ設定を行います。【X】、【Y】、【W】、【H】について、【テンプレート(1 系統)】シートに作成した入力エリアのセルをそれぞれ設定してください。ここでは、下図のように入力します。

No.	名称	タグ名	シート名	リサイズ											
				セルの値で設定											
				X		Y		W		H					
行	列	行	列	行	列	行	列								
2	sample¥sampleChart1.dso	CHART													
3	sample¥sampleChart2.dso	NAME													
3	sample¥sampleChart2.dso	BAR1	テンプレート(1系統)	37	E	37	F	37	G	37	H				
3	sample¥sampleChart2.dso	BAR2	テンプレート(1系統)	38	E	38	F	38	G	38	H				
3	sample¥sampleChart2.dso	BAR3	テンプレート(1系統)	39	E	39	F	39	G	39	H				

8.2.5. シートの入力項目に計算式を追加する

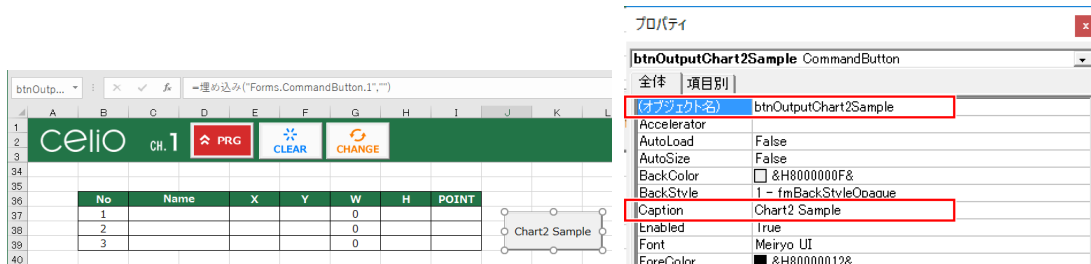
- ① 入力した得点に応じてグラフの幅が変わるように、入力項目に計算式を追加します。
【テンプレート(1 系統)】シートを開き、作成した入力エリアの【W】に下記の計算式を追加します。
【No1~3】の全ての【W】に追加してください。



```
=ROUND((1260/100) * I37, 0)
=ROUND((1260/100) * I38, 0)
=ROUND((1260/100) * I39, 0)
```

8.2.6. 送出手続コマンドボタンを追加する

- ① **【テンプレート(1 系統)】**シートに、送出手続コマンドボタンを追加します。
 ここでは、ボタンの【オブジェクト名】を「btnOutputChart2Sample」、【Caption】を「Chart2 Sample」に設定します。



- ② 追加したコマンドボタンのクリックイベントプロシージャに、下記の VBA コードを記述します。

```
Private Sub btnOutputChart2Sample_Click()

    ClickOutBtn 3, GetPrgPrv(), btnOutput

End Sub
```

```
'////////////////////////////////////
'/// グラフ送出手続ボタンクリック時 (サンプル2)
'////////////////////////////////////
Private Sub btnOutputChart2Sample_Click()

    ClickOutBtn 3, GetPrgPrv(), btnOutput

End Sub
```

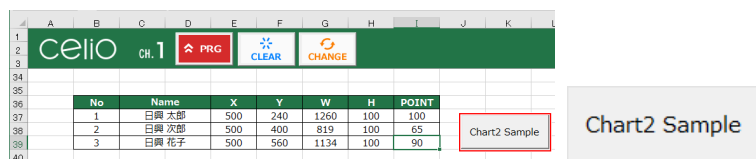
8.2.7. データを入力して送出する

- ① 【テンプレート(1 系統)】シートを開き、作成した入力エリアの【X】、【Y】、【H】、【POINT】の項目を入力してください。ここでは、下図のように入力します。

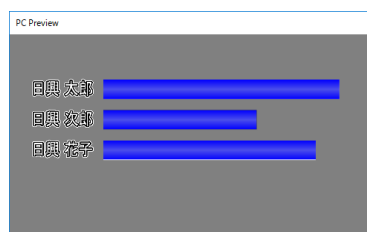
【W】は先程入力した計算式によって、【POINT】を入力すると自動計算されます。

No	Name	X	Y	W	H	POINT
1	日興 太郎	500	240	1260	100	100
2	日興 次郎	500	400	819	100	65
3	日興 花子	500	560	1134	100	90

- ② 送出するコマンドボタンをクリックしてください。



四角形オブジェクトがリサイズされて送出されます。

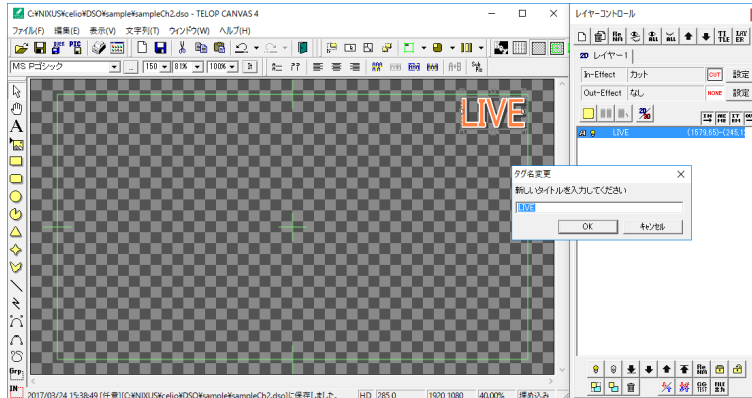


9. チュートリアル-2Channel 送出

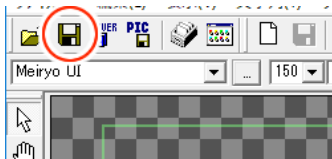
2 系統接続機能を使用して、Channel1 と Channel2 に異なる DSO ファイルを送出してみましょう。

9.1.1. DSO ファイルを作成する

- ① 作画ソフトを使って Channel2 に送出する DSO ファイルを作成します。
ここでは、文字列オブジェクトを配置して「LIVE」というタグ名を設定します。



- ② DSO ファイルを保存します。
ここでは、「C:\NIXUS\celio\DSO\sample」フォルダに「sampleCh2.dso」という名称で保存します。
【任意保存】ボタンをクリックして、DSO ファイルを保存してください。



Channel1 に送出する DSO ファイルは、「チュートリアル-基本」で使用した DSO ファイル (sample.dso) を使用します。

以上で作画ソフトでの DSO ファイルを作成するチュートリアルは終了です。
次に、ベースファイル(celio ベース.xlsm)を使ったチュートリアルを説明します。

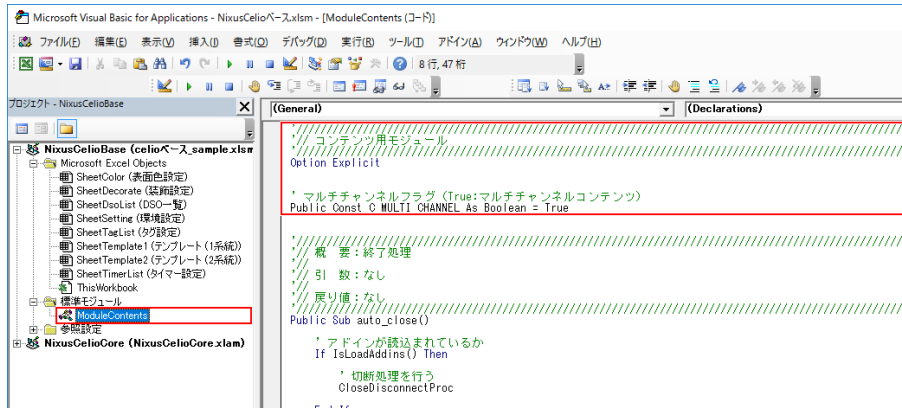
9.1.2. DSO 一覧シートに登録する

- ① 作成した DSO ファイルをベースファイルに登録します。【DSO 一覧】シートを開いてください。
ここでは、【No】に「4」、【名称】にサブフォルダ名を含めた DSO ファイル名
「sample\sampleCh2.dso」を入力します。

	A	B	C	D
1		DSO一覧		
2		No	名称	備考
3		1	sample\sample.dso	
4		2	sample\sampleChart1.dso	グラフを表示するサンプル1
5		3	sample\sampleChart2.dso	グラフを表示するサンプル2
6		4	sample\sampleCh2.dso	Channel2に送出するサンプル
7				

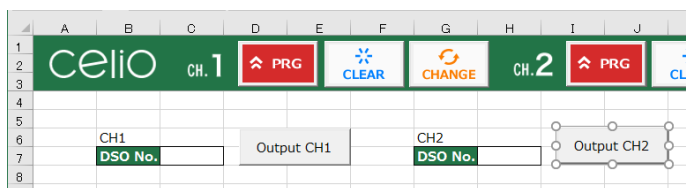
9.1.3. モジュールの設定を変更する

- ① 2 系統を使用するコンテンツを作成する場合は、VBA エディタで標準モジュール【ModuleContents】内の【C_MULTI_CHANNEL】を「True」に設定してください。初期値では「False」に設定されています。



9.1.4. シートに入力エリアと送出用のコマンドボタンを追加する

- ① 【テンプレート(2 系統)】シートを開き、「DSO No」を入力するエリアと、送出するコマンドボタンを 2 系統分それぞれ下図のように追加します。



- ② 追加したコマンドボタンのクリックイベントプロシージャに、VBA コードを記述します。

■Channel1 送出用

```
Private Sub btnOutCh1_Click()

    Dim nDsoNo As Integer

    nDsoNo = GetCellNumData(ActiveSheet, 7, 3)
    If nDsoNo <= 0 Then
        Exit Sub
    End If

    ClickOutBtn nDsoNo, GetPrgPrvCh1(), btnOutCh1, C_CONNECT_L1

End Sub
```

```

'////////////////////////////////////
' 送出 (CH1) ボタンクリック時 (サンプル)
'////////////////////////////////////
Private Sub btnOutCh1_Click()

    Dim nDsoNo As Integer

    nDsoNo = GetCellNumData(ActiveSheet, 7, 3)
    If nDsoNo <= 0 Then
        Exit Sub
    End If

    ClickOutBtn nDsoNo, GetPrgPrvCh1(), btnOutCh1, C_CONNECT_L1

End Sub

```

■Channel2 送信用

```

Private Sub btnOutCh2_Click()

    Dim nDsoNo As Integer

    nDsoNo = GetCellNumData(ActiveSheet, 7, 8)
    If nDsoNo <= 0 Then
        Exit Sub
    End If

    ClickOutBtn nDsoNo, GetPrgPrvCh2(), btnOutCh2, C_CONNECT_L2

End Sub

```

```

'////////////////////////////////////
' 送出 (CH2) ボタンクリック時 (サンプル)
'////////////////////////////////////
Private Sub btnOutCh2_Click()

    Dim nDsoNo As Integer

    nDsoNo = GetCellNumData(ActiveSheet, 7, 8)
    If nDsoNo <= 0 Then
        Exit Sub
    End If

    ClickOutBtn nDsoNo, GetPrgPrvCh2(), btnOutCh2, C_CONNECT_L2

End Sub

```

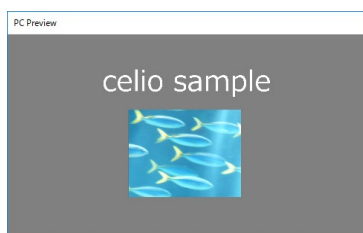
9.1.5. DSO 番号を入力して Channel1/Channel2 に送出する

- ① まずは Channel1 に送出します。

【DSO No.】に「1」を入力して、コマンドボタンをクリックしてください。

CH1		Output CH1
DSO No.	1	

Channel1 に指定した DSO ファイルが送出されます。

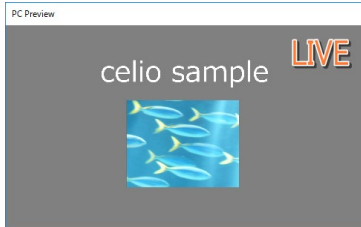


② 次に、Channel2 に送出します。

【DSO No.】に「4」を入力して、コマンドボタンをクリックしてください。

CH2		Output CH2
DSO No.	4	

Channel2 に指定した DSO ファイルが送出されます。

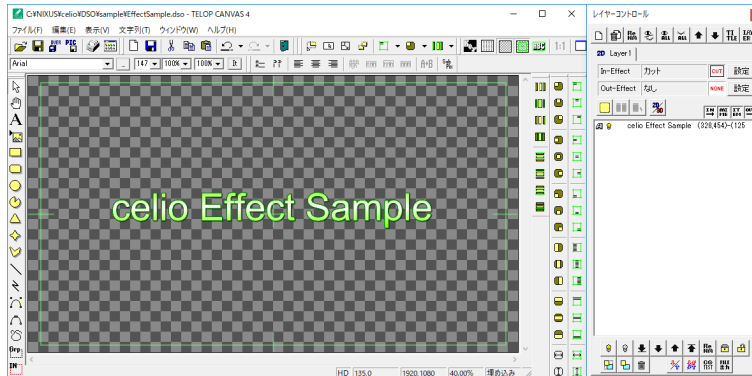


10. チュートリアル-全面エフェクト

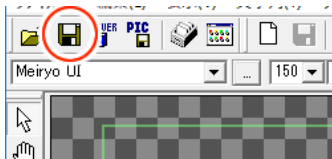
ここでは、celio で使用する DSO ファイルの全面エフェクト設定について解説します。

10.1. DSO ファイルを作成する

- ① 作画ソフトで全面エフェクトを適用する DSO を作成します。
ここでは、テキストオブジェクトを配置します。



- ② DSO ファイルを保存します。
ここでは、「C:\NIXUS\celio\DSO\sample」フォルダに「EffectSample.dso」という名称で保存します。【任意保存】ボタンをクリックして、DSO ファイルを保存してください。



以上で作画ソフトでの DSO ファイルを作成するチュートリアルは終了です。
次に、ベースファイル(celio ベース.xlsm)を使ったチュートリアルを説明します。

10.2. DSO 一覧シートに登録する

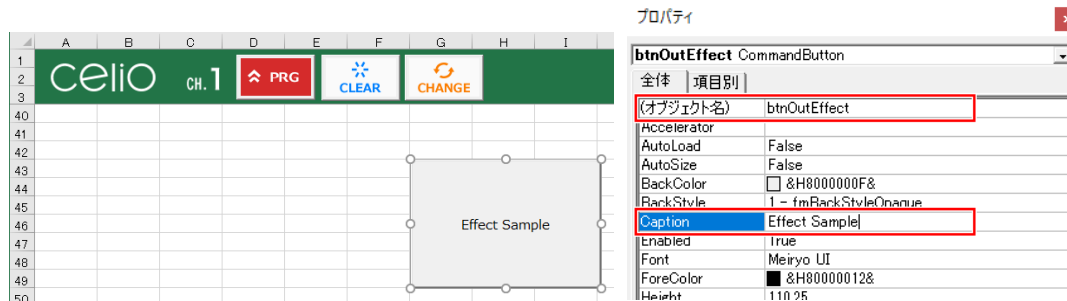
- ① 作成した DSO ファイルをベースファイルに登録します。【DSO 一覧】シートを開いてください。
ここでは、【No】に「5」、【名称】にサブフォルダ名を含めた DSO ファイル名「sample\EffectSample.dso」を入力します。

C11 : sample\EffectSample.dso			
	A	B	C
1	DSO一覧		
2			
3			
4	No.	名称	備考
5			
6			
7	1	sample\sample.dso	サンプルです
8	2	sample\sampleChart1.dso	グラフサンプルです。
9	3	sample\sampleChart2.dso	グラフサンプル2です。
10	4	sample\sampleCh2.dso	Channel2送出力サンプルです。
11	5	sample\EffectSample.dso	エフェクト用サンプルです。
12			

10.3. 送出するコマンドボタンを追加する

- ① 【テンプレート(1 系統)】シートを開き、送出するコマンドボタンを追加します。

ここでは、ボタンの【オブジェクト名】を「btnOutEffect」、【Caption】を「Effect Sample」に設定します。



- ② 追加したコマンドボタンのクリックイベントプロシージャに、下記の VBA コードを記述します。

```
Private Sub btnOutEffect_Click()

    ClickOutBtn 5, GetPrgPrv(), btnOutEffect

End Sub
```

```
'////////////////////////////////////
'// エフェクト送出ボタンクリック時 (サンプル3)
'////////////////////////////////////
Private Sub btnOutEffect_Click()
|
|     ClickOutBtn 5, GetPrgPrv(), btnOutEffect
|
End Sub
```

10.4. 全面エフェクト設定を登録して送出する

【DSO 一覧】シートを開き、全面エフェクト設定を登録してください。

- ① 【全面インエフェクト】にある【使用】に「1」を入力してチェックを付け、【シート名】に「テンプレート(1 系統)」と入力してください。

また、【タイプ】に「3」、【パターン】に「1」、【スピード】に「60」、【オプション】に「0」を設定します。

※タイプ(3)=プッシュ/パターン(1)=右へ/スピード(60)=60Field/オプション(0)=通常

DSO一覧			全面インエフェクト									
No.	名称	備考	使用	シート名	タイプ		パターン		スピード		オプション	
					直接設定	セル値 行 列	直接設定	セル値 行 列	直接設定	セル値 行 列	直接設定	セル値 行 列
1	sample/sample.dso	サンプルです										
2	sample/sampleChart1.dso	クラフサンプルです。										
3	sample/sampleChart2.dso	クラフサンプルです。										
4	sample/sampleCh2.dso	Channel2送出用サンプルです。										
5	sample/EffectSample.dso	エフェクト用サンプルです。	✓	テンプレート (1系統)	3		1		60		0	

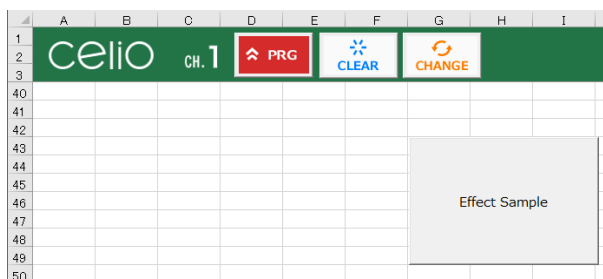
② 【全面アウトエフェクト】にある【使用】に「1」を入力してチェックを付け、【シート名】に「テンプレート(1系統)」と入力してください。

また、【タイプ】に「4」、【パターン】に「0」、【スピード】に「60」を設定します。

※タイプ(4)=フェード/パターン(0)=その他/スピード(60)=60Field

DSO一覧			全面アウトエフェクト											
No.	名称	備考	使用	シート名	タイプ		パターン		スピード		オプション			
					直接設定	セル値 行列	直接設定	セル値 行列	直接設定	セル値 行列	直接設定	セル値 行列		
1	sample/sample.dso	サンプルです												
2	sample/sampleChart1.dso	グラフサンプルです。												
3	sample/sampleChart2.dso	グラフサンプル2です。												
4	sample/sampleCh2.dso	Channel2送信用サンプルです。												
5	sample/EffectSample.dso	エフェクト用サンプルです。	☑	テンプレート(1系統)	4		0		60					

③ 【テンプレート(1系統)】シートを開き、コマンドボタンをクリックしてください。



全面エフェクトが実行されて送出されます。



10.5. 全面エフェクト設定の入力エリアを作成して送出する

次は、作成した入力エリアで全面エフェクト設定を切り替えられるようにしてみましょう。

① 【テンプレート(1系統)】シートに、置き換える文字列を入力するエリアを作成してください。

ここでは、下図のように作成します。

The screenshot shows the Celio software interface with the 'Effect Sample' button. Below the button, there are two tables for inputting effect settings:

In Effect			
Type	Pattern	Speed	Option

Out Effect		
Type	Pattern	Speed

- ② 【DSO 一覧】シートを開き、【全面インエフェクト】の【タイプ】、【パターン】、【スピード】、【オプション】の項目と、【全面アウトエフェクト】の【タイプ】、【パターン】、【スピード】の項目について作成した入力エリアのセルをそれぞれ設定してください。ここでは、下図のように入力します。

DSO一覧			全面インエフェクト											
No.	名称	備考	使用	シート名	タイプ		パターン		スピード		オプション			
					直接設定	セル値 行 列	直接設定	セル値 行 列	直接設定	セル値 行 列	直接設定	セル値 行 列		
1	sample/sample.dso	サンプルです												
2	sample/sampleChart1.dso	グラフサンプルです。												
3	sample/sampleChart2.dso	グラフサンプル2です。												
4	sample/sampleCh2.dso	Channel2送信用サンプルです。												
5	sample/EffectSample.dso	エフェクト用サンプルです。	✔	テンプレート (1系統)	45	B	45	C	45	D	45	E		

DSO一覧			全面アウトエフェクト											
No.	名称	備考	使用	シート名	タイプ		パターン		スピード		オプション			
					直接設定	セル値 行 列	直接設定	セル値 行 列	直接設定	セル値 行 列	直接設定	セル値 行 列		
1	sample/sample.dso	サンプルです												
2	sample/sampleChart1.dso	グラフサンプルです。												
3	sample/sampleChart2.dso	グラフサンプル2です。												
4	sample/sampleCh2.dso	Channel2送信用サンプルです。												
5	sample/EffectSample.dso	エフェクト用サンプルです。	✔	テンプレート (1系統)	49	B	49	C	49	D				

- ③ 【テンプレート(1系統)】シートを開き、全面エフェクトの【タイプ】、【パターン】、【スピード】、【オプション】を入力して、コマンドボタンをクリックしてください。

※このチュートリアルでは DSO 内にスライドオブジェクトを作成していないので、タイプ=6:スライドはカット出力になります。

In Effect			
Type	Pattern	Speed	Option
8	11	120	0

Out Effect		
Type	Pattern	Speed
7	0	60

Effect Sample

入力した全面エフェクトで送られます。



11. チュートリアル-タイマー機能

ここでは、celio で使用するタイマー機能について解説します。

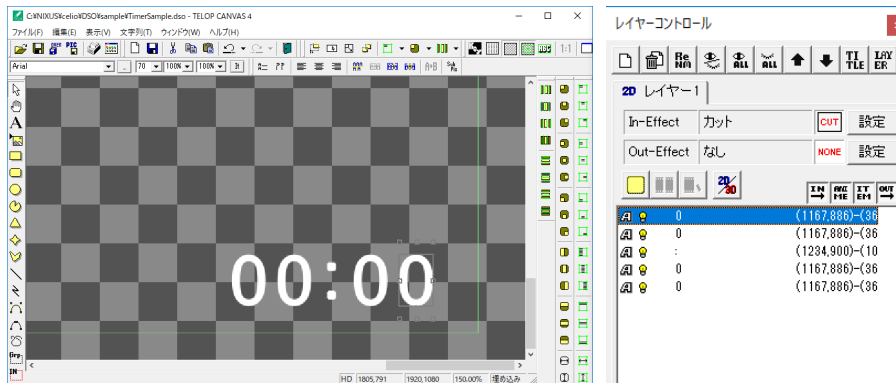
11.1. カウントアップ/カウントダウンを送出する

celio のタイマー機能を利用して、カウントアップ/カウントダウンするタイマーを作成して送受してみましよう。ここでは、シートに入力した数値からカウントダウンするタイマーを作成します。

11.1.1. DSO ファイルを作成する

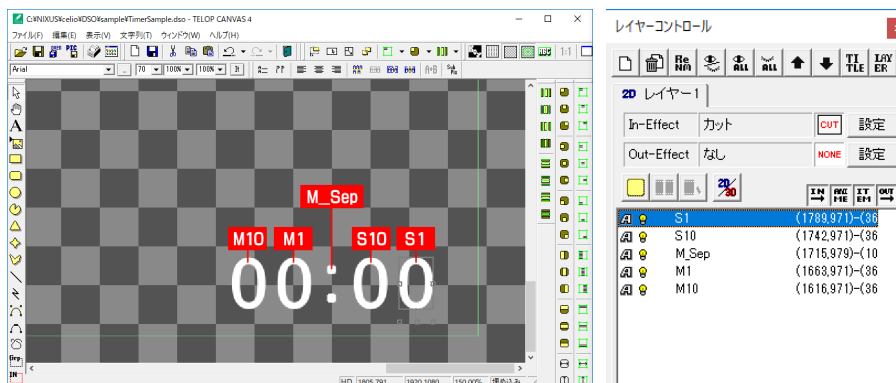
- ① 作画ソフトで DSO ファイルを作成します。

ここでは、分(Min)、秒(Sec)をそれぞれ 2 桁で表示できるように文字列オブジェクトを配置します。1 桁で 1 つの文字列オブジェクトを使用するようにしてください。

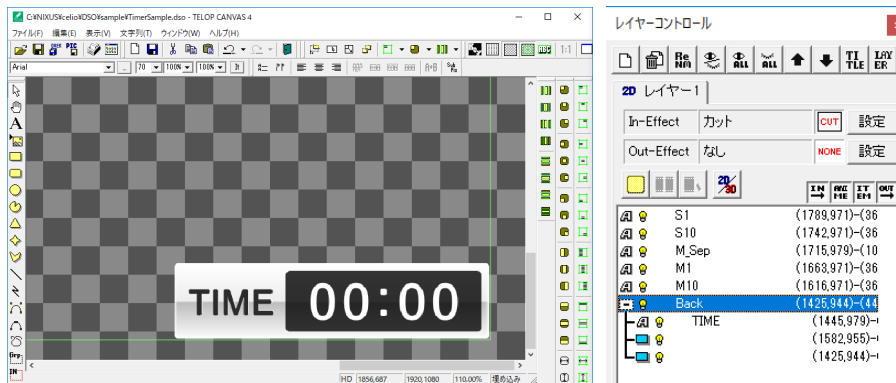


- ② 配置した文字列オブジェクトにタグ名を設定します。ここでは、分と秒の 10 の位と 1 の位にそれぞれ「M10」、「M1」、「S10」、「S1」というタグ名を設定します。

また、分と秒の区切りの「:」(コロン)には「M_Sep」というタグ名を設定します。

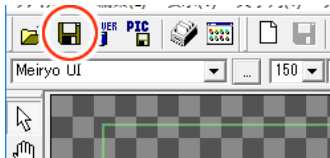


- ③ タイマーの背景にオブジェクトを配置して、「Back」というタグ名を設定します。



- ④ DSO ファイルを保存します。

ここでは、「C:\NIXUS\celio\DSO\sample」フォルダに「TimerSample.dso」という名称で保存します。【任意保存】ボタンをクリックして、DSO ファイルを保存してください。



以上で作画ソフトでの DSO ファイルを作成するチュートリアルは終了です。
次に、ベースファイル(celio ベース.xlsm)を使ったチュートリアルを説明します。

11.1.2. DSO ファイルを登録する

- ① 作成した DSO ファイルをベースファイルに登録します。【DSO 一覧】シートを開いてください。
ここでは、【No】に「6」、【名称】にサブフォルダを含めた DSO ファイル名「sample\TimerSample.dso」を入力します。

C12 : sample\TimerSample.dso			
	A	B	C
1	DSO一覧		
2			
3			
4	No.	名称	備考
5			
6			
7	1	sample\sample.dso	サンプルです
8	2	sample\sampleChart1.dso	グラフサンプルです。
9	3	sample\sampleChart2.dso	グラフサンプル2です。
10	4	sample\sampleCh2.dso	Channel2送出力サンプルです。
11	5	sample\EffectSample.dso	エフェクト用サンプルです。
12	6	sample\TimerSample.dso	タイマー用サンプルです。
13			

11.1.3. タイマー設定を登録する

- ① 【タイマー設定】シートを開き、タイマーの動作設定とタグ設定を行います。
【タイマーNo.1】の【名称】に「Timer Sample 1」と入力して、【タイプ】で「1:カウントダウン」を選択してください。

タイマー No.	名称	タイプ
1	Timer Sample 1	1
2		

- ② 次にタグ設定を行います。【タグ名】の【分】、【秒】、【背景】について、DSO ファイル作成時に設定したタグ名「M10」、「M1」、「M_Sep」、「S10」、「S1」、「Back」をそれぞれ入力してください。

タイマー No.	名称	タグ名												背景	スライド				
		時			分			秒			ミリ秒				IN	OUT			
1	Timer Sample 1	100	10	1	区切	100	10	1	区切	100	10	1	区切	100	10	1	Back		
2																			

- ③ 次に 0 表示の設定を行います。チェックを付けた桁は 0 が表示されます。ここでは、【分】、【秒】の【10】と【1】にそれぞれチェックを付けてください。

タイマー No.	名称	0表示											
		日			時			分			秒		
1	Timer Sample 1	100	10	1	100	10	1	100	10	1	100	10	1
2													

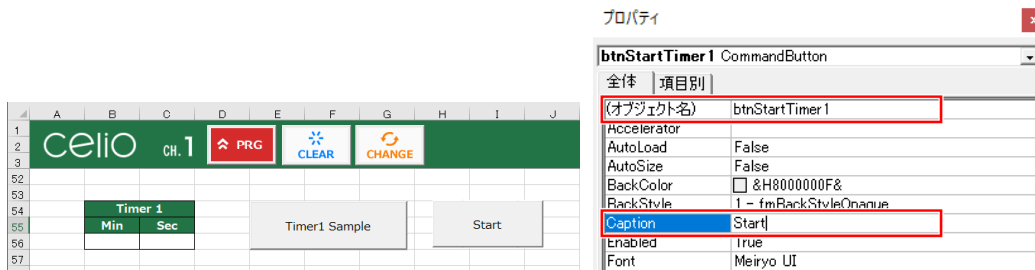
11.1.4. 入力エリアを作成する

- ① 【テンプレート(1 系統)】シートを開き、タイマーの時間を入力するエリアを作成してください。
ここでは、下図のように 56 行目 B 列に「分」を入力するエリア、56 行目 C 列に「秒」を入力するエリアを作成します。

1	celio CH. 1 PRG		
2			
3			
52			
53			
54	Timer 1		
55	Min	Sec	
56			
57			

11.1.7. タイマーのカウントを開始するコマンドボタンを追加する

- ① 【テンプレート(1 系統)】シートに、タイマーのカウントを開始するコマンドボタンを追加します。
ここでは、ボタンの【オブジェクト名】を「btnStartTimer1」、【Caption】を「Start」に設定します。



- ② 追加したコマンドボタンのクリックイベントプロシージャに、下記の VBA コードを記述します。

```
Private Sub btnStartTimer1_Click()

    StartTimer 1

End Sub
```

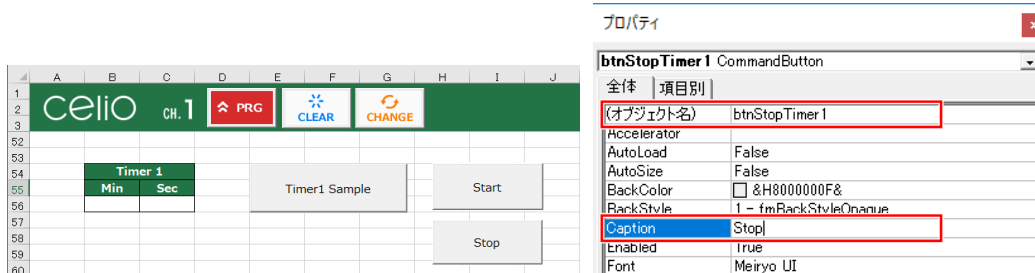
```
////// タイマー1 開始ボタンクリック時 (サンプル4)
Private Sub btnStartTimer1_Click()

    StartTimer 1

End Sub
```

11.1.8. タイマーのカウントを停止するコマンドボタンを追加する

- ① 【テンプレート(1 系統)】シートに、タイマーのカウントを停止するコマンドボタンを追加します。
ここでは、ボタンの【オブジェクト名】を「btnStopTimer1」、【Caption】を「Stop」に設定します。



- ② 追加したコマンドボタンのクリックイベントプロシージャに、下記の VBA コードを記述します。

```
Private Sub btnStopTimer1_Click()

    StopTimer 1

End Sub
```

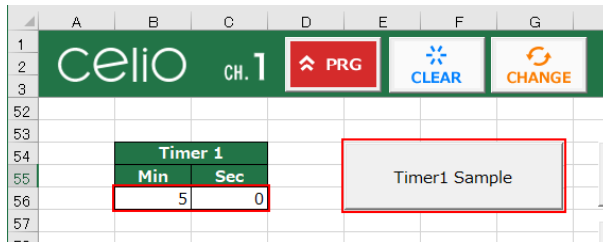
```

'////////////////////////////////////
'// タイマー1 停止ボタンクリック時 (サンプル4)
'////////////////////////////////////
Private Sub btnStopTimer1_Click()
    StopTimer 1
End Sub

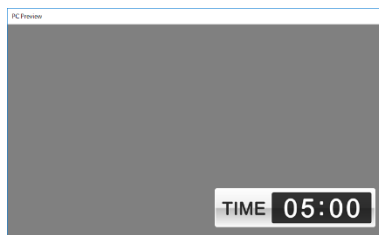
```

11.1.9. タイマーを送出する

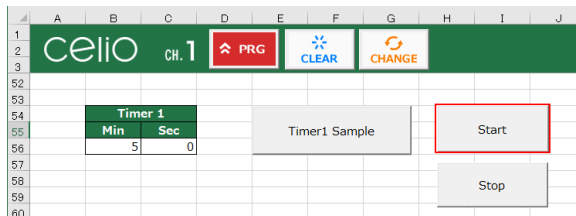
- ① 【テンプレート(1 系統)】シートを開き、作成した入力エリアの【Min】、【Sec】の項目を入力して、タイマーを送出するコマンドボタンをクリックしてください。



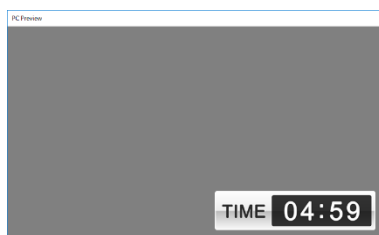
タイマーが送出されます。



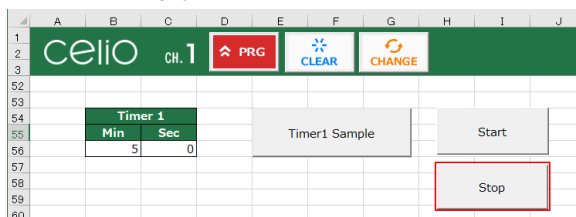
- ② タイマーのカウントを開始するコマンドボタンをクリックしてください。



タイマーのカウントダウンが開始されます。



また、タイマーのカウントを停止するコマンドボタンをクリックすることで、カウントダウンを停止することができます。



11.2. 時計を送出する

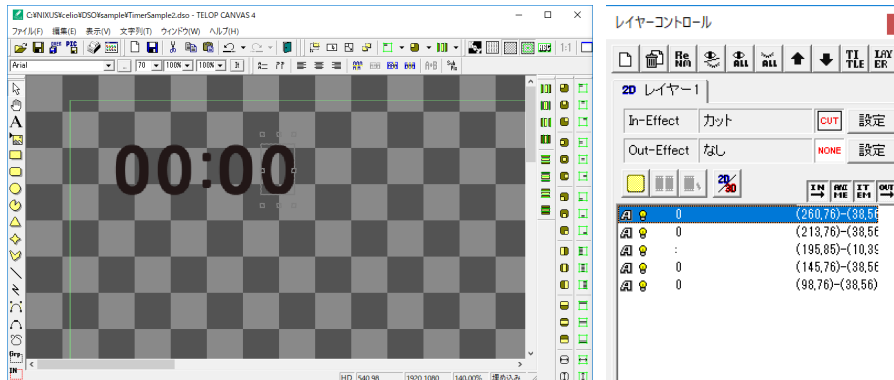
celio のタイマー機能を利用して、時計を送出してみましょう。

ここでは、IN スライドと OUT スライド使ってエフェクトを設定した時計を作成します。

11.2.1. DSO ファイルを作成する

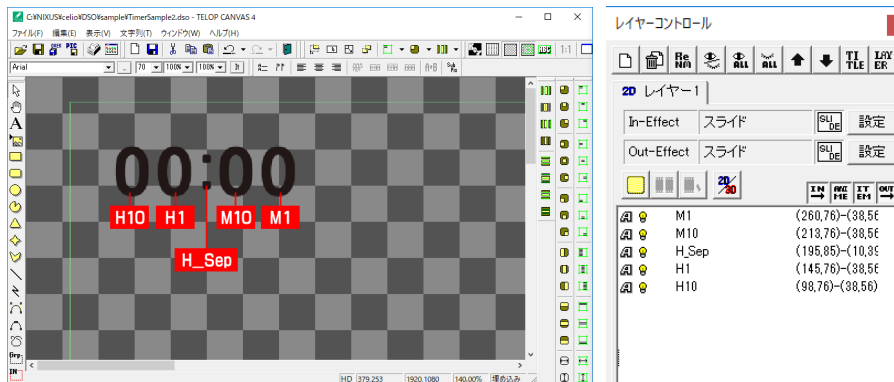
- ① 作画ソフトで DSO ファイルを作成します。

ここでは、時間(Hour)、分(Min)をそれぞれ 2 桁で表示できるように文字列オブジェクトを配置します。1 桁で 1 つの文字列オブジェクトを使用するようにしてください。

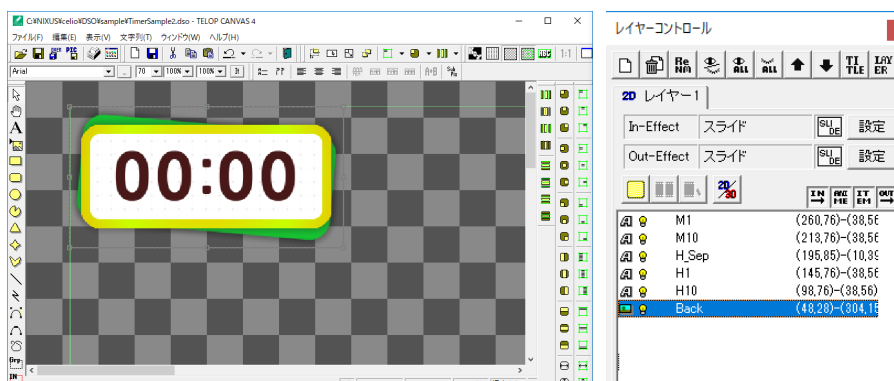


- ② 配置した文字列オブジェクトにタグ名を設定します。ここでは、時間と分の 10 の位と 1 の位にそれぞれ「H10」、「H1」、「M10」、「M1」というタグ名を設定します。

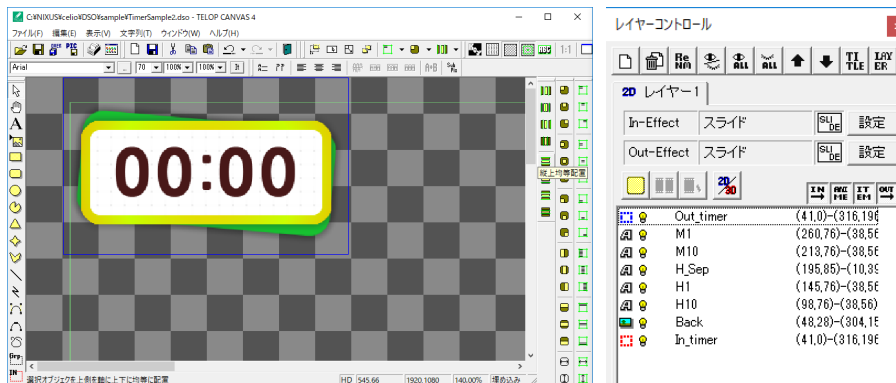
また、時間と分の区切りの「:」(コロン)には「H_Sep」というタグ名を設定します。



- ③ 時計の背景として画像オブジェクトを配置して、「Back」というタグ名を設定します。画像は「C:\¥NIXUS¥celio¥PIC¥sample」フォルダ内の画像を使用しています。



- ④ 時計を囲むように IN スライドオブジェクトと OUT スライドオブジェクトを追加して、それぞれ「In_timer」、「Out_timer」というタグ名を設定します。

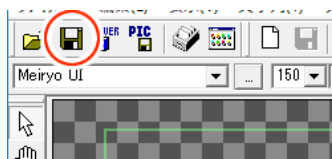


ここでは、IN スライドに「プッシュイン(右)」、OUT スライドに「プッシュクリア(左)」を設定します。



- ⑤ DSO ファイルを保存します。

ここでは、「C:¥NIXUS¥celio¥DSO¥sample」フォルダに「TimerSample2.dso」という名称で保存します。【任意保存】ボタンをクリックして、DSO ファイルを保存してください。



以上で作画ソフトでの DSO ファイルを作成するチュートリアルは終了です。
次に、ベースファイル(celio ベース.xlsm)を使ったチュートリアルを説明します。

11.2.2. DSO ファイルを登録する

- ① 作成した DSO ファイルをベースファイルに登録します。【DSO 一覧】シートを開いてください。ここでは、【No】に「7」、【名称】にサブフォルダを含めた DSO ファイル名「sample¥TimerSample2.dso」を入力します。

No.	名称	備考
1	sample¥sample.dso	サンプルです
2	sample¥sampleChart1.dso	グラフサンプルです。
3	sample¥sampleChart2.dso	グラフサンプル2です。
4	sample¥sampleCh2.dso	Channel2送信用サンプルです。
5	sample¥EffectSample.dso	エフェクト用サンプルです。
6	sample¥TimerSample.dso	タイマー用サンプルです。
7	sample¥TimerSample2.dso	タイマー用サンプル2です。

11.2.3. タイマー設定を登録する

- ① 【タイマー設定】シートを開き、タイマーの動作設定とタグ設定を行います。【タイマーNo.2】の【名称】に「Timer Sample 2」と入力して、【タイプ】で「2:時計」を選択してください。

タイマー No.	名称	タイプ
1	Timer Sample 1	1
2	Timer Sample 2	2
3		

- ② 次にタグ設定を行います。【タグ名】の【時】、【分】、【背景】、【スライド】について、DSO ファイル作成時に設定したタグ名「H10」、「H1」、「H_Sep」、「M10」、「M1」、「Back」、「In_timer」、「Out_timer」、をそれぞれ入力してください。

タイマー No.	名称	タグ名												背景			スライド		
		時				分				秒				ミリ秒			IN	OUT	
1	Timer Sample 1	100	10	1	区切	100	10	1	区切	100	10	1	区切	100	10	1	Back	IN	OUT
2	Timer Sample 2		H10	H1	H_Sep		M10	M1	M_Sep		S10	S1	区切				Back	In_timer	Out_timer

- ③ 次に 0 表示の設定を行います。チェックを付けた桁は 0 が表示されます。ここでは、【時】、【分】の【10】と【1】にそれぞれチェックを付けてください。

タイマー No.	名称	0表示																	
		日				時				分				秒					
1	Timer Sample 1	100	10	1	100	10	1	100	10	1	100	10	1	✓	✓	✓	✓	✓	✓
2	Timer Sample 2													✓	✓	✓	✓		

11.2.4. DSO 一覧シートに登録する

- ① 【DSO 一覧】シートを開き、【タイマー】にある【使用】に「1」を入力してチェックを付け、【タイマーNo.】に「2」を入力してください。また、【シート名】に「テンプレート(1系統)」と入力してください。

No.	名称	備考	使用	タイマーNo.	シート名	タイマー									
						初期値									
						日	時	分	セル値	セル値	セル値				
1	sample*sample.dso	サンプルです													
2	sample*sampleChart1.dso	グラフサンプルです。													
3	sample*sampleChart2.dso	グラフサンプル2です。													
4	sample*sampleCh2.dso	Channel2送出力サンプルです。													
5	sample*EffectSample.dso	エフェクト用サンプルです。													
6	sample*TimerSample.dso	タイマー用サンプルです。	✓	1	テンプレート(1系統)										
7	sample*TimerSample2.dso	タイマー用サンプル2です。	✓	2	テンプレート(1系統)										

11.2.5. 送出するコマンドボタンを追加する

- ① 【テンプレート(1系統)】シートに、時計を送出するコマンドボタンを追加します。
ここでは、ボタンの【オブジェクト名】を「btnOutTimer2」、【Caption】を「Timer2 Sample」に設定します。

- ② 追加したコマンドボタンのクリックイベントプロシージャに、下記の VBA コードを記述します。

```
Private Sub btnOutTimer2_Click()

    ClickOutBtn 7, GetPrgPrv(), btnOutTimer2

End Sub

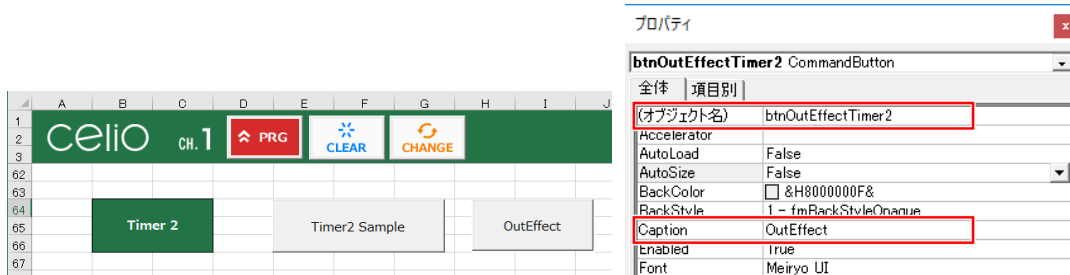
'////////////////////////////////////
'// タイマー2 送出ボタンクリック時 (サンプル5)
'////////////////////////////////////
Private Sub btnOutTimer2_Click()

    ClickOutBtn 7, GetPrgPrv(), btnOutTimer2

End Sub
```

11.2.6. 時計 OUT スライドのコマンドボタンを追加する

- ① 【テンプレート(1 系統)】シートに、時計 OUT スライドのコマンドボタンを追加します。
ここでは、ボタンの【オブジェクト名】を「btnOutEffectTimer2」、【Caption】を「OutEffect」に設定します。



- ② 追加したコマンドボタンのクリックイベントプロシージャに、下記の VBA コードを記述します。

```
Private Sub btnOutEffectTimer2_Click()

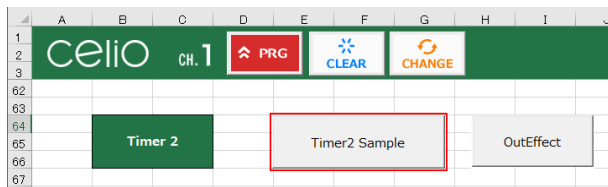
    PlayTimerOutEffect 2

End Sub
```

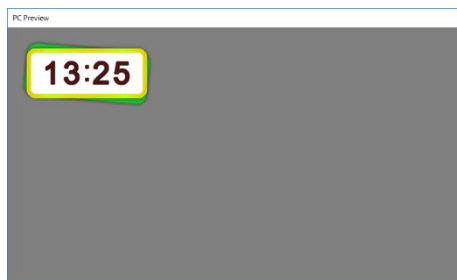
```
'////////////////////////////////////  
'// タイマー2 OutEffect ボタンクリック時 (サンプル5)  
'////////////////////////////////////  
  
Private Sub btnOutEffectTimer2_Click()  
    PlayTimerOutEffect 2  
End Sub
```

11.2.7. 時計を送出する

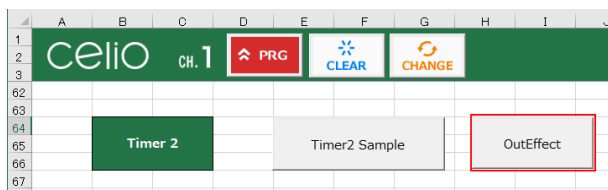
- ① 時計を送出するコマンドボタンをクリックしてください。



時計が表示されます。



- ② OUT スライドのコマンドボタンをクリックすることで、時計がエフェクト付きでアウトされます。



12. 改訂履歴

版数	作成日	SDK Version	改訂内容
1.0 版	2017/09	Ver.1.0.1.1	初版を作成
2.0 版	2018/03	Ver.1.1.0.2	機能追加に伴い追記
3.0 版	2019/04	Ver.1.1.0.2	ロゴ修正

NIXUS
passion for innovation

日興通信株式会社
(C)2019,NIXUS Nikko Telecommunications Co., LTD.

NIXUS は日興通信株式会社の登録商標です。

Microsoft® Excel®は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。

NDI®は、米国 NewTek 社の登録商標です。